

(様式第 10)

長大病総第 1039 号

令和 2 年 1

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 長崎大学長

河野 茂

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話(095)819-7200
---------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 <input type="radio"/> 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(I) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	<input checked="" type="radio"/>	
②消化器内科	<input checked="" type="radio"/>	
③循環器内科	<input checked="" type="radio"/>	
④腎臓内科	<input checked="" type="radio"/>	
⑤神経内科	<input checked="" type="radio"/>	
⑥血液内科	<input checked="" type="radio"/>	
7内分泌内科	<input checked="" type="radio"/>	
8代謝内科	<input checked="" type="radio"/>	
⑨感染症内科	<input checked="" type="radio"/>	
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input checked="" type="radio"/>	
⑪リウマチ科	<input checked="" type="radio"/>	
診療実績		
内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。		
アレルギー疾患については皮膚科等で対応している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	① 有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科	②消化器外科
5血管外科	⑥心臓血管外科
3乳腺外科	7内分泌外科
4心臓外科	⑧小児外科
診療実績 乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	6泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	① 有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
①小児歯科	②矯正歯科
3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1泌尿器科・腎移植外科	2形成外科	3内分泌・代謝内科	4乳腺・内分泌外科	5病理診断科
6移植外科	7脳神経内科	8胃・食道外科	9大腸・肛門外科	10肝胆膵外科・肝移植外科
11歯科口腔外科	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21				

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
39床	2床	6床	0床	827床	874床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	583人	23人	591.4人	看護補助者	67人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	144人	6人	147.9人	理学療法士	24人	臨床検査技師	80人
薬剤師	63人	0人	63人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	2人
助産師	46人	0人	46人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	924人	6人	927.8人	臨床工学士	25人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	2人	その他の技術員	42人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯科技工士	5人	事務職員	310人
管理栄養士	12人	1人	12.5人	診療放射線技師	47人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	52人	眼科専門医	14人
外科専門医	65人	耳鼻咽喉科専門医	8人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	20人
小児科専門医	23人	脳神経外科専門医	15人
皮膚科専門医	11人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	26人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	9人
		合 計	298人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中尾 一彦) 任命年月日 平成 31年 4月 1日

- ・安全管理部長 (平成31年1月1日～平成31年3月31日)
- ・医療安全管理委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成31年4月1日～継続中)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	686.5人	12.0人	698.5人
1日当たり平均外来患者数	1,369.7人	421.5人	1,791.2人
1日当たり平均調剤数			3067 剤
必要医師数			154.298 人
必要歯科医師数			22.575 人
必要薬剤師数			38.338 人
必要(准)看護師数			408.957 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要	
集中治療室	405.55m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計 (有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置 (有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー (有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2 m ² [移動式の場合] 台数 台			病床数 50床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名				
化学検査室	243.6 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置2台、自動免疫分析装置2台、自動血液ガス分析装置2台、全自動血糖・ヘモグロビンA1C測定装置2台、全自動蛋白分画装置1台		
細菌検査室	185 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光学顕微鏡2台、安全キャビネット2台、全自動同定・感受性装置1台、全自動培地塗布装置1台、質量分析装置1台、全自動血液培養装置2台		
病理検査室	343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット、バーチャルスライド、スマートセクション等		
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラシステム等		
研究室	3,343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等		
講義室	第3講義室 172 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員
	第4講義室 389 m ²				第3講義室 150 人 第4講義室 270 人
図書室	142 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数 14,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.6%	逆紹介率	56.5 %
算出根拠	A：紹介患者の数		17,385 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,807 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,791 人
	D：初診の患者の数		22,648 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院 医療安全管理部 副部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合 法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2
長谷川 ゆり	長崎大学病院産 科婦人科 准教授		その他学長が必要と認めた者	(有)・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 病院ホームページで公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性リンパ浮腫あるいは悪性腫瘍のリンパ節郭清後のリンパ浮腫に対するリンパ管と静脈のバイパス手術			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	77人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード(高速回転冠動脈アテレクトミー)による冠動脈形成術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 高度石灰化病変をロータブレードで削り、その後に、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要 経カテーテル人工生体弁セットを用いて大動脈弁置換術を実施			
医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するドセタキセル療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例の一部において腫瘍の縮小が認められる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
4	56	球脊髄性筋萎縮症	67	ベーチェット病	67
17	57	筋萎縮性側索硬化症	53	特発性拡張型心筋症	53
1	58	脊髄性筋萎縮症	37	肥大型心筋症	37
0	59	原発性側索硬化症	0	拘束型心筋症	0
12	60	進行性核上性麻痺	26	再生不良性貧血	26
61	61	パーキンソン病	2	自己免疫性溶血性貧血	2
3	62	大脳皮質基底核変性症	2	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
0	63	ハンチントン病	25	特発性血小板減少性紫斑病	25
0	64	神経有棘赤血球症	2	血栓性血小板減少性紫斑病	2
1	65	シャルコー・マリー・トゥース病	11	原発性免疫不全症候群	11
100	66	重症筋無力症	33	IgA腎症	33
0	67	先天性筋無力症候群	18	多発性嚢胞腎	18
50	68	多発性硬化症/視神経脊髄炎	12	黄色靱帯骨化症	12
11	69	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	51	後縦靱帯骨化症	51
0	70	封入体筋炎	6	広範脊柱管狭窄症	6
0	71	クロー・深瀬症候群	52	特発性大腿骨頭壊死症	52
18	72	多系統萎縮症	19	下垂体性ADH分泌異常症	19
31	73	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	3	下垂体性TSH分泌亢進症	3
8	74	ライソゾーム病	8	下垂体性PRL分泌亢進症	8
1	75	副腎白質ジストロフィー	6	クッシング病	6
7	76	ミトコンドリア病	0	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
57	77	もやもや病	13	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
2	78	プリオン病	40	下垂体前葉機能低下症	40
0	79	亜急性硬化性全脳炎	1	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
0	80	進行性多巣性白質脳症	0	甲状腺ホルモン不応症	0
10	81	HTLV-1関連脊髄症	1	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
0	82	特発性基底核石灰化症	0	先天性副腎低形成症	0
10	83	全身性アミロイドーシス	0	アジソン病	0
0	84	ウルリッヒ病	67	サルコイドーシス	67
0	85	遠位型ミオパチー	56	特発性間質性肺炎	56
1	86	ベスレムミオパチー	25	肺動脈性肺高血圧症	25
0	87	自己食空胞性ミオパチー	0	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
0	88	シュワルツ・ヤンベル症候群	18	慢性血栓性肺高血圧症	18
29	89	神経線維腫症	7	リンパ管筋腫症	7
16	90	天疱瘡	7	網膜色素変性症	7
5	91	表皮水疱症	2	バッド・キアリ症候群	2
6	92	膿疱性乾癬(汎発型)	0	特発性門脈圧亢進症	0
0	93	スティーヴンス・ジョンソン症候群	52	原発性胆汁性肝硬変	52
0	94	中毒性表皮壊死症	5	原発性硬化性胆管炎	5
30	95	高安動脈炎	6	自己免疫性肝炎	6
3	96	巨細胞性動脈炎	135	クローン病	135
15	97	結節性多発動脈炎	178	潰瘍性大腸炎	178
44	98	顕微鏡的多発血管炎	10	好酸球性消化管疾患	10
20	99	多発血管炎性肉芽腫症	0	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
10	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
35	101	悪性関節リウマチ	0	腸管神経節細胞減少症	0
1	102	パージャール病	0	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
3	103	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	CFC症候群	0
283	104	全身性エリテマトーデス	0	コストロ症候群	0
84	105	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	チャージ症候群	0
120	106	全身性強皮症	2	クリオピリン関連周期熱症候群	2
60	107	混合性結合組織病	3	全身型若年性特発性関節炎	3
30	108	シェーグレン症候群	0	TNF受容体関連周期性症候群	0
8	109	成人スチル病	0	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
3	110	再発性多発軟骨炎	0	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	1
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	1
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	3	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳膜黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	28
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	20	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	20
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	12	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	4
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性出血病XIII	2
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	5
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	9
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ボルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	11
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・抗菌薬適正使用支援加算(感染防止対策加算1)
・歯科外来診療環境体制加算2	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・呼吸ケアチーム加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・データ提出加算(2)
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・入退院支援加算(1)
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算2)	・入退院支援加算(3)
・看護補助加算(精神病棟 50対1)	・入院時支援加算(入退院支援加算)
・療養環境加算	・認知症ケア加算(1)
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算2	・精神科急性期医師配置加算
・緩和ケア診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・精神科応急入院施設管理加算	・排尿自立支援加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・地域医療体制確保加算
・精神科身体合併症管理加算	・救命救急入院料1
・精神科リエゾンチーム加算	・救急体制充実加算1(救命救急入院料)
・栄養サポートチーム加算	・高度医療体制加算(救命救急入院料)
・医療安全対策加算1	・小児加算(救命救急入院料)
・感染防止対策加算1	・特定集中治療室管理料2
・感染防止対策地域連携加算(感染防止対策加算1)	・小児加算(特定集中治療室管理料)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・がん治療連携管理料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・認知症専門診断管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注4に掲げる植込型除細動器移行期加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・外来排尿自立指導料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・喘息治療管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・検査・画像情報提供加算/電子的診療情報評価料
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ハ	・在宅療養後方支援病院
・がん患者指導管理料ニ	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病透析予防指導管理料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・小児運動器疾患指導管理料	・遺伝学的検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・骨髄微小残存病変量測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・腎代替療法指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)
・院内トリアージ実施料	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来放射線照射診療料	・先天性代謝異常症検査
・ニコチン依存症管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)/抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・HPV核酸検出
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・がん治療連携計画策定料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・検体検査管理加算(IV)	・頭部MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・画像診断管理加算3
・遺伝カウンセリング加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・無菌製剤処理料
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・外来化学療法加算1
・植込型心電図検査	・連携充実加算
・時間内歩行試験/シャトルウォーキングテスト	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・胎児心エコー法	・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)
・ヘッドアップティルト試験	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・皮下連続式グルコース測定	・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・(運動器リハビリテーション初期加算)
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・小児食物アレルギー負荷検査	・(呼吸器リハビリテーション初期加算)
・内服・点滴誘発試験	・がん患者リハビリテーション料
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)
・経気管支凍結生検法	・精神科作業療法
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・CT撮影/MRI撮影	・医療保護入院等診療料
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
・大腸CT撮影加算	・人工腎臓
・心臓MRI撮影加算	・導入期加算2
・乳房MRI撮影加算	・透析液水質確保加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術	・同種死体肺移植術
・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術	・生体部分肺移植術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・羊膜移植術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)/内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術/胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膈腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・内視鏡下筋層切開術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経皮的冠動脈形成術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・網膜再建術	・経皮的冠動脈ステント留置術
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下弁形成術
・人工中耳用材料	・胸腔鏡下弁置換術
・人工内耳植込術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・植込型骨導補聴器移植術/植込型骨導補聴器交換術	・経皮的の中隔心筋焼灼術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型心電図記録計移植術/植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)/両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)/植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・同種死体腓移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)/両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・同種死体腎移植術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・経皮的大動脈遮断術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・ダメージコントロール手術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・生体腎移植術
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・同種死体肝移植術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波膵石破碎術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・画像誘導密封小線源治療加算
・輸血管理料 I	・デジタル病理画像による病理診断
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・病理診断管理加算2
・自己生体組織接着剤作成術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・同種クリオプレシピテート作製術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・歯科治療時医療管理料
・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・歯科訪問診療料の注13に規定する基準
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ
・子宮付属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ
・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)	・咀嚼能力検査
・麻酔管理料(I)	・咬合圧検査
・麻酔管理料(II)	・精密触覚機能検査
・放射線治療専任加算	・睡眠時歯科筋電図検査
・外来放射線治療加算	・歯科画像診断管理加算1
・高エネルギー放射線治療	・歯科画像診断管理加算2
・1回線量増加加算(全乳房照射)	・手術用顕微鏡加算
・強度変調放射線治療(IMRT)	・歯根端切除手術の注3
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・口腔粘膜処置
・体外照射呼吸性移動対策加算	・歯周組織再生誘導手術
・1回線量増加加算(前立腺照射)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・定位放射線治療	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンをを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	188回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 13 例 / 剖検率 4.2 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝子搭載自己組織化ナノデバイスを用いた新規骨再生基質の開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	6,200,000	補助委 日本学術振興会
HTLV-1による慢性炎症修飾の関連解明を目指したコホート研究	前田 陸浩	総合診療科	3,600,000	補助委 日本学術振興会
高密度Tn-Seq法を用いたIX型分泌機構に関わる遺伝子群のゲノムワイド解析	内藤 真理子	口腔病原微生物学 (口腔細菌学)	3,400,000	補助委 日本学術振興会
光触媒機能と治癒促進機能をもつダイナミック印象応用型光重合軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科 補綴学第二)	2,500,000	補助委 日本学術振興会
口腔健康状態は4大死因につながる生活習慣病へ影響するか? :五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学(予防 歯科)	3,100,000	補助委 日本学術振興会
自己細胞を用いた人工気管による再生医療と難治性気道疾患への応用	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一 外科)	4,000,000	補助委 日本学術振興会
病因関連分子と治癒関連分子を基盤とした薬剤関連顎骨過剰の新規分子標的治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	3,000,000	補助委 日本学術振興会
組織骨格を利用した再生臓器におけるハイブリッド型血管ニッチの確立と移植研究	土谷 智史	腫瘍外科学(第一 外科)	3,500,000	補助委 日本学術振興会
プレシジョンインプラント治療を目指した時間依存性荷重誘発型骨質最適化分子の探索	澤瀬 陸	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	4,600,000	補助委 日本学術振興会
扁平上皮癌特異的癌関連遺伝子DKK3による腫瘍制御	片瀬 直樹	口腔病理学	600,000	補助委 日本学術振興会
無汗症の病態を熱中症予防戦略の確立につなげる:革新的手法による汗腺制御様式の解明	室田 浩之	皮膚科	400,000	補助委 日本学術振興会
血中cell-free DNAの基準範囲及び測定前変動要因の決定	宇野 直輝	病態解析・診断学 (臨床検査医学)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
各種心筋症の診断および臨床像における心筋病理組織評価の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	500,000	補助委 日本学術振興会
循環器疾患における時計遺伝子Clif/Bmal2の役割の解明	前村 浩二	循環器内科	900,000	補助委 日本学術振興会
特発性間質性肺炎の病態における自己抗体の関与	迎 寛	呼吸器内科(第二 内科)	1,600,000	補助委 日本学術振興会
NETsをターゲットとした肺線維化の制御	坂本 憲穂	呼吸器内科(第二 内科)	1,700,000	補助委 日本学術振興会
ループス腎炎における免疫学的機序を介したポドサイトの機能解析	一瀬 邦弘	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	900,000	補助委 日本学術振興会
高システロール血症における臨床的、分子遺伝学的研究	伊達木 澄人	小児科学	1,300,000	補助委 日本学術振興会
ヘリコバクター属菌感染によるTLR9を介した肝内胆管癌発癌機構の解明	足立 智彦	移植・消化器外科 (第二外科)	900,000	補助委 日本学術振興会
初代培養細胞とin vitro血液脳関門モデルを用いたがん脳転移メカニズムの解明	氏福 健太	脳神経外科	700,000	補助委 日本学術振興会
悪性神経膠腫浸潤開始因子の脳血液関門モデルを用いた探索	松尾 孝之	脳神経外科	1,200,000	補助委 日本学術振興会
日本人女性における皮膚骨多孔性の発生に関する研究:HR-pQCTによる横断調査	千葉 恒	整形外科	800,000	補助委 日本学術振興会
臓器保護指向型鎮静法の開発:デクスメトミジンの心保護作用	原 哲也	麻酔科	1,000,000	補助委 日本学術振興会
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心保護作用への影響と細胞内機序	一ノ宮 大雅	麻酔科	900,000	補助委 日本学術振興会
胎盤機能における胎盤由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	900,000	補助委 日本学術振興会
異所性妊娠の鑑別診断に有用な分子マーカーの同定と臨床応用に関する研究	増崎 英明	産科婦人科	700,000	補助委 日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞による放射線照射リンパ管内皮細胞に対するリンパ管新生効果の検討	吉本 浩	形成外科	1,400,000	補助委 日本学術振興会
頸部リンパ節診断のための画像診断報告データシステム	柴田 智	歯科放射線学	1,300,000	補助委 日本学術振興会
シェーグレン症候群唾腺における超音波画像診断国際基準試案策定	高木 幸則	歯科放射線学	1,300,000	補助委 日本学術振興会
Micro-graftを用いた培養操作を介さない骨再生法の確立	大場 誠悟	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	800,000	補助委 日本学術振興会
歯根吸収発症における細胞内小器官分解機構を有する12/15-LOXの関与	佛坂 斉社	矯正歯科(歯科矯正 学)	900,000	補助委 日本学術振興会
放射線性多発骨髄の発生機序の解明と予防法に関する多施設共同ランダム化比較試験	五月女 さき子	口腔保健学(予防 歯科)	800,000	補助委 日本学術振興会
肝細胞癌に対するCDK4/6阻害薬による抗腫瘍免疫誘導の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	1,000,000	補助委 日本学術振興会
関節リウマチの関節破壊機序の解明:高解像度CTによるアプローチ	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	1,400,000	補助委 日本学術振興会

小計 34件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗CCP抗体の病的意義の研究からめざす関節リウマチの病態解明および最適化治療	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,400,000	日本学術振興会
リアルタイム可視化アッセイによるオピオイド受容体細胞内動態解析と新規鎮痛法の開拓	村田 寛明	麻酔科	1,400,000	日本学術振興会
胎児機能における羊水由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	1,100,000	日本学術振興会
子宮内膜炎の卵巣予備能低下における細胞外基質マイクロフィブリルの役割に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,100,000	日本学術振興会
高解像度3D手術顕微鏡および画像オーバーレイシステムの構築	北岡 隆	眼科	400,000	日本学術振興会
MIの理念とエビデンスに基づいたくさび状欠損への対処法の確立	久保 至誠	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,100,000	日本学術振興会
ウイルスベクターを用いた遺伝子活性化基質による骨再生療法の創製	三浦 桂一郎	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,100,000	日本学術振興会
多施設共同前向き研究による舌癌予防術の適応決定と転移関連バイオマーカー検索	梅田 正博	口腔外科学第一	1,300,000	日本学術振興会
分子イメージングを用いて力と骨代謝の関係を究明し矯正力を最適化する	森田 幸子	矯正歯科(歯科矯正学)	800,000	日本学術振興会
歯周病による動脈硬化発症におけるアディポカインとマクロファージの相互作用解析	古堅 麗子	口腔保健学(予防歯科)	800,000	日本学術振興会
病原真菌カンジダにおける多剤耐性機序の解明とその克服	宮崎 泰可	呼吸器内科(第二内科)	1,800,000	日本学術振興会
心臓リモデリングにおける抗線維化マクロファージの機能解析	砂河 孝行	循環器内科	1,100,000	日本学術振興会
AI技術を活用した『真の寛解』を目指した次世代関節リウマチ診療アルゴリズムの構築	川尻 真也	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,400,000	日本学術振興会
関節リウマチの精密医療の実現を目指す多角的な病態解析研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,300,000	日本学術振興会
家族性地中海熱の「早期診断」と「精密医療の実現」に向けたバイオマーカーの開発	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,300,000	日本学術振興会
凍結および真空乾燥ヒト羊膜を利用した新規呼吸器外科領域被覆材の創製	永安 武	腫瘍外科学(第一外科)	900,000	日本学術振興会
SBRC2aを標的にした新規心不全治療薬による敗血症性左室拡張機能の制御	石崎 泰令	麻酔科	1,300,000	日本学術振興会
イムノコンプレキソーム解析法を用いた去勢抵抗性前立腺癌特異的病態関連因子の検討	酒井 英樹	泌尿器科	1,000,000	日本学術振興会
糖尿病網膜症増悪因子の検討	松本 牧子	眼科	1,100,000	日本学術振興会
ぶどう膜炎に対するエストロゲン受容体シグナルの抗炎症作用機序の解明	隈上 武志	眼科	700,000	日本学術振興会
骨細胞を基軸としたリン依存性オートファジー誘発型骨老化機構の解明	佐々木 宗輝	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,300,000	日本学術振興会
光合成の触媒系を象牙質接着強化に応用し歯根を保存するバイオミメティクス研究	平 暲輔	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	2,100,000	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,000,000	日本学術振興会
マルチパラメトリックMRIを用いた高精度口腔癌リンパ節転移予測法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,300,000	日本学術振興会
放射線によって活性化されるcPLA2の役割	片山 郁夫	歯科放射線学	1,500,000	日本学術振興会
上気道閉塞徴候と麻酔科医の診断・処置データを深層学習させた麻酔管理ロボットの開発	鮎瀬 卓郎	歯科麻酔学	2,900,000	日本学術振興会
S.mutansとS.sobrinusの共感染による重症性歯発生メカニズムの解明	藤原 卓	小児歯科学	1,500,000	日本学術振興会
新規ex vivo肺癌研究モデルとしての小型ヒト再生肺の創出	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	1,300,000	日本学術振興会
骨細胞を基軸とするオートファジー誘発性優先配向制御機構の解明	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,500,000	日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の遺伝学的背景の解明と個別化治療への応用	山口 博之	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	日本学術振興会
PsIGによるカンジダバイオフィルム感染症に対する新規治療法開発	高園 貴弘	呼吸器内科(第二内科)	1,200,000	日本学術振興会
十二指腸内視鏡的粘膜下層剥離術後の穿孔予防を目的とした細胞シート移植治療の開発	丸屋 安広	移植・消化器外科(第二外科)	1,600,000	日本学術振興会
インターフェロン誘発性抗ウイルス因子の胎盤形成に及ぼす影響	泉田 真生	総合診療科	1,300,000	日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収への静止期破骨細胞前駆細胞の関与と血管内皮増殖因子の影響	山下 恭徳	歯周歯内治療学	700,000	日本学術振興会
PTH製剤と機械的刺激の相乗的骨形成促進作用による低侵襲なインプラント治療の開発	稲葉 菜緒	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,800,000	日本学術振興会
インプラント周囲骨組織の荷重応答性カップリング因子誘発型骨質制御機構の解明	右藤 友督	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,000,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
疾患炎症細胞を共培養利用した免疫調整性抗炎症細胞群による慢性唾液腺炎の新規治療	井 隆司	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	1,600,000	補助委 日本学術振興会
弾性線維性仮性黄色腫患者における重症度および予後因子の研究	岩永 聡	皮膚科	1,700,000	補助委 日本学術振興会
銀ナノ粒子担持加工技術を応用したアクリル系軟質リライン材への抗菌効果の付与	江越 貴文	歯科補綴学(歯科 補綴学第二)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
骨形成不全症患者の骨折治癒促進を目的とした高機能骨誘導性基質の開発	野田 さわこ	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	1,200,000	補助委 日本学術振興会
羊膜由来間葉系幹細胞における細胞接着メカニズムに基づいた骨芽細胞分化誘導法の開発	江頭 寿洋	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
DPP1は小児の根尖性歯周炎治療における指標となり得るか?	西俣 はるか	小児歯科学	1,700,000	補助委 日本学術振興会
ポピドンヨードの口腔内塗布による呼吸器装着患者の肺炎予防	川北 晃子(宇 田晃子)	口腔腫瘍治療学 (口腔外科学第一)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
顎口腔機能低下モデルを用いた若年層からの包括的オーラルフレイル予防戦略の検討	藤下 あゆみ	矯正歯科(歯科矯正 学)	1,400,000	補助委 日本学術振興会
義歯安定剤に含有されるアルコールが酒気帯び運転違反の判定に及ぼす影響	岡崎 ひとみ	歯科補綴学(歯科 補綴学第二)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
国民に広く浸透する肺炎予防のオーラルバイオフィルムを除去する新しい方法の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科 補綴学第二)	40,000	補助委 日本学術振興会
脂肪幹細胞移植による肛門機能改善に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科 (第二外科)	300,000	補助委 日本学術振興会
新敗血症定義に準拠した敗血症総合検査システム構築と国内及び東南アジアへ運用展開	柳原 克紀	病態解析・診断学 (臨床検査医学)	500,000	補助委 日本学術振興会
トルコと日本の自己炎症疾患発症責任分子複合体を活性化する生体・環境因子の比較調査	川上 純	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	200,000	補助委 日本学術振興会
超域性大気中PM2.5結合ヒアルブミンの生体影響とその予防法の開発	尾長谷 靖	呼吸器内科(第二 内科)	50,000	補助委 日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	梅田 正博	口腔外科学第一	20,000	補助委 日本学術振興会
自己炎症バイオマーカーによるリウマチ性疾患の新たな分類と治療法の確立	川上 純	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	30,000	補助委 日本学術振興会
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	70,000	補助委 日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮顎骨の増生治療開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学 (口腔外科学第二)	100,000	補助委 日本学術振興会
筋線維芽細胞と血管内皮前駆細胞の創傷治癒作用に着目した難治性顎骨壊死の治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	300,000	補助委 日本学術振興会
光を用いた非侵襲的かつ低コストで行える関節診断技術の開発	千葉 恒	整形外科	100,000	補助委 日本学術振興会
自己免疫性自律神経障害の「多様性」に関する多角的研究	川上 純	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	100,000	補助委 日本学術振興会
肝細胞/類洞/胆管を複合した新規肝再構築技術の創出	江口 晋	移植・消化器外科 (第二外科)	100,000	補助委 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	梅田 正博	口腔外科学第一	50,000	補助委 日本学術振興会
パーチェット病のゲノムワイド型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	川上 純	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	50,000	補助委 日本学術振興会
パーチェット病のゲノムワイド型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内 科学(第一内科)	50,000	補助委 日本学術振興会
環境中化学物質による気管支喘息発症の中心的役割としてのエクソソームとそのmiRNA	尾長谷 靖	呼吸器内科(第二 内科)	300,000	補助委 日本学術振興会
ケニア無歯科医地域での部族間を横断した統合型口腔環境疫学データの構築と活用	近藤 好夫	小児歯科学	1,200,000	補助委 日本学術振興会
口腔常在菌による膜嚥性肺炎発症機構の分子的解析と宿主リスク評価法	五月女 さき子	口腔保健学(予防 歯科)	50,000	補助委 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	五月女 さき子	口腔保健学(予防 歯科)	100,000	補助委 日本学術振興会
フレット瘻痕声帯線維芽細胞に対するプロスタグランジンE2の効果に関する研究	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学	1,950,000	補助委 日本学術振興会
先端モデル動物支援プラットフォーム	二口 充	病理診断科・病理 部	2,040,000	補助委 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	長谷川 寛雄	検査部	100,000	補助委 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	今泉 芳孝	血液内科(原研内 科)	100,000	補助委 日本学術振興会
敗血症に対する電気刺激の筋蛋白分解への影響と理学療法法の探索	花田 匡利	リハビリテーション部	900,000	補助委 日本学術振興会
肺指向性・長期作用持続型ナノDDS製剤を基盤とした革新的肺線維症治療薬の創出	兒玉 幸修	薬剤部	1,100,000	補助委 日本学術振興会
細胞サイズ調節遺伝子によるワールブルグ効果の破綻を利用した肝細胞癌抑制の研究	三馬 聡	消化器内科	1,200,000	補助委 日本学術振興会

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
縦隔リンパ節中球に着目した肺炎球菌肺炎における新しい免疫機構の解明	山本 和子	呼吸器内科(第二内科)	500,000	日本学術振興会
小脳失調を合併したランバート・イートン筋無力症候群の血液脳関門は破壊している	白石 裕一	脳神経内科	100,000	日本学術振興会
小脳失調を合併したランバート・イートン筋無力症候群の血液脳関門は破壊している	吉村 俊祐	脳神経内科	100,000	日本学術振興会
ADHD同胞多発家系のリスク遺伝子の同定と機能解析;発達特性の多次元評価	今村 明	精神科神経科	1,600,000	日本学術振興会
灌流型3次元血液脳関門モデルの開発と応用	諸藤 陽一	脳神経外科	700,000	日本学術振興会
細胞の微細構造と拡散モデル式との相関	佐々木 美穂	歯科放射線室	1,300,000	日本学術振興会
ヒト歯髄幹細胞と感染症への可能性のない魚コラーゲンを応用した歯髄再生療法の開発	山本 耕平	歯科保存治療室	200,000	日本学術振興会
個人識別に最適化する歯式マトリックスと深層学習による個人識別に関する基礎的研究	丸山 陽市	矯正歯科(歯科矯正学)	800,000	日本学術振興会
正確な看護業務時間測定と評価に基づく看護業務改善システムの構築と検証に関する研究	岡田 みずほ	看護部管理室	800,000	日本学術振興会
持続的血液濾過透析中の早期離床は患者の予後を変えられるか?	矢野 雄大	リハビリテーション部	400,000	日本学術振興会
頸動脈粥状硬化症におけるリンパ管新生/血管新生アンバランスとPCSK9との関連	立石 洋平	脳神経内科	600,000	日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死治療の多施設共同前向き観察研究と病理組織学的病態解析	林田 咲	口腔顎顔面外科室	600,000	日本学術振興会
肺指向性ナノパーティクルPNAG-DNAワクチンによる肺感染症の発症/重症化予防	賀来 敬仁	検査部	800,000	日本学術振興会
難治性呼吸器疾患に対する新規核酸医薬品の開発	佐々木 均	薬剤部	4,400,000	日本学術振興会
ATL発症クローンの同定・解析に基づく病因解明と個別化検査法の確立	長谷川 寛雄	検査部	3,700,000	日本学術振興会
慢性肝疾患におけるプレイル予防策の解明	田浦 直太	病床管理センター	1,000,000	日本学術振興会
植物性ナノ粒子による非アルコール性脂肪性肝疾患に対する新規薬効成分の探索	官明 寿光	消化器内科	1,300,000	日本学術振興会
エピジェネティクス(特にHDAC)がケロイド発生病態に及ぼす効果の検討	鍛塚 大	皮膚科・アレルギー科	1,000,000	日本学術振興会
パターン認識に基づく新たな炎症病態解析法の開発	田島 吾郎	救命救急センター	1,200,000	日本学術振興会
敗血症性心筋障害におけるアポトーシスの制御とGLP-1受容体の役割解明	吉富 修	麻酔科	900,000	日本学術振興会
脳梗塞に対する細胞移植・再生医療における健常側対側大脳半球の制御メカニズム解明	堀江 信貴	脳神経外科	1,400,000	日本学術振興会
血液脳関門保護をターゲットとした中枢神経疾患治療薬の開発	出雲 剛	脳神経外科	1,400,000	日本学術振興会
免疫学的プロファイリングによる間質性膀胱炎の病態解明と新規診断ツールと治療法開発	松尾 朋博	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会
腎癌幹細胞に癌周囲微小環境変化が与える影響の解析:新たな治療戦略の開発を目指して	大庭 康司郎	泌尿器科	1,100,000	日本学術振興会
遠隔転移に関与するエクソソームmicroRNA解析による口腔癌治療標的分子の探索	柳本 悠市	口腔顎顔面外科室	1,100,000	日本学術振興会
口腔癌頭部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	柳本 悠市	口腔顎顔面外科室	20,000	日本学術振興会
高透光性PSZ系ジルコニアのアルミナプラスティング後の曲げ強度は熱処理で改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	900,000	日本学術振興会
人工知能(AI)を利用した顎顔面の成長予測技術の開発	古賀 義之	矯正歯科(歯科矯正学)	1,000,000	日本学術振興会
がん化学療法誘発口腔粘膜炎に対するBlimp-1の新規機能の解明	吉松 昌子	周術期口腔管理センター	1,100,000	日本学術振興会
雲仙曾賢岳噴火災害被災者における27年後の精神的問題と認知機能の関連	木下 裕久	精神科神経科	1,300,000	日本学術振興会
スマートグラスを利用したバーチャル専門外来の確立と有用性の検討	辻野 彰	脳神経内科	700,000	日本学術振興会
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関する看護職者教育プログラムの開発	松本 恵	腫瘍外科(第一外科)	1,000,000	日本学術振興会
頭頸部への放射線治療に伴う口腔有害事象予防バンドルの効果とQOLの評価	川下 由美子	周術期口腔管理センター	1,500,000	日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	森本 陽介	リハビリテーション部	200,000	日本学術振興会
乳幼児のガンシクロビル治療最適化のための薬物動態解析と治療効果に関する研究	里 加代子	薬剤部	900,000	日本学術振興会
緩和医療でのワルファリン適正使用に向けた、鎮痛薬-ワルファリン相互作用の機序解明	石井 浩二	麻酔科	1,400,000	日本学術振興会

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
EMT-MET理論に基づいた新しい創傷表皮再生への試み	小池 雄太	皮膚科・アレルギー科	1,600,000	補助委 日本学術振興会
多発性筋炎/皮膚筋炎関連急速進行性間質性肺炎の病態におけるIL-15の役割の解明	清水 俊匡	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,900,000	補助委 日本学術振興会
抗原性を消失させた脾島細胞シート移植による免疫寛容導入の試み	大野 慎一郎	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	補助委 日本学術振興会
消化器癌に対する遺伝子改変T細胞と多機能ヘルパーT細胞誘導ワクチン併用療法の開発	米田 晃	移植・消化器外科(第二外科)	800,000	補助委 日本学術振興会
難治性肺疾患に対する脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた幹細胞治療の基礎研究	土肥 良一郎	腫瘍外科(第一外科)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心筋保護作用への影響	江頭 崇	麻酔科	1,200,000	補助委 日本学術振興会
性差を考慮した女性特有のサルコペニアの発症メカニズムの解明と治療応用	北島 百合子	産科婦人科	1,200,000	補助委 日本学術振興会
ARONJに対するテリパラチド投与における骨代謝動態および病理組織学的検討	森下 廣太	口腔顎顔面外科室	1,700,000	補助委 日本学術振興会
小児がん患者における入院中の活動量(体位変換の量を含む)と運動機能に関する調査	夏迫 歩美	リハビリテーション部	540,000	補助委 日本学術振興会
慢性炎症をきたす持続感染症とサルコペニアとの関連の解明	山梨 啓友	総合診療科	600,000	補助委 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症での新規アポトーシス誘導物質の病態への関連性と新規治療法の開発	江口 正倫	循環器内科	1,000,000	補助委 日本学術振興会
ATLに対する個別化治療:MTAPを指標としたPRMT5阻害剤による治療の開発	今泉 芳孝	血液内科(原研内科)	1,700,000	補助委 日本学術振興会
HTLV-1のシェーグレン症候群病態形成への直接的関与	中村 英樹	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
肺非結核性抗酸菌症と腸内細菌叢の関連性の解析	今村 圭文	呼吸器内科(第二内科)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
独自ラット肺移植モデルを用いた間葉系幹細胞による拒絶抑制法の開発	富崎 拓郎	腫瘍外科(第1外科)	1,300,000	補助委 日本学術振興会
肥大大心に対する心筋保護戦略-ROCKの役割解明と制御-	前川 拓治	麻酔科	1,900,000	補助委 日本学術振興会
デクスメタミジンの心筋保護作用と心臓血管外科周術期管理への応用	東島 潮	麻酔科	1,700,000	補助委 日本学術振興会
てんかん原生獲得におけるNeurovascular unit機能破綻の機序解明	馬場 史郎	脳神経外科	1,300,000	補助委 日本学術振興会
Rho kinase阻害薬fasudilが血液脳関門に与える影響とメカニズム解明	松永 裕希	脳神経外科	1,300,000	補助委 日本学術振興会
腎癌におけるフェロトーシスの分子機構の解明と新たな治療戦略の構築	望月 保志	泌尿器科・腎移植外科	900,000	補助委 日本学術振興会
絨毛性疾患における妊娠関連胎盤特異的microRNAの臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	1,400,000	補助委 日本学術振興会
胎児由来mRNA/microRNAの機能解析とその臨床的意義に関する研究	東島 愛	産科婦人科	1,600,000	補助委 日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収におけるHMGB1の関与	鶴飼 孝	総合歯科診療部	1,100,000	補助委 日本学術振興会
高齢者・有病者・障害者のための簡易な固定性補綴歯科治療の提言	田上 直美	特殊歯科総合治療部	1,700,000	補助委 日本学術振興会
痛みを伴うのに咬みしめはどうして習癖に移行するのか?-筋抵抗性変化との関連-	鳥巢 哲朗	義歯補綴治療室	1,700,000	補助委 日本学術振興会
骨形成におけるROSの影響とそれを抑制するインプラント表面の設計	尾上 哲郎	冠補綴治療室	1,600,000	補助委 日本学術振興会
唾液腺癌発癌に関わる遺伝子の解析と分子標的薬の探索	柳本 惣市	口腔顎顔面外科室	100,000	補助委 日本学術振興会
アディポカインであるアクチビンの歯周病における病態生理学的意義の解明	林田 秀明	総合歯科診療部	1,300,000	補助委 日本学術振興会
トランスロケーションマウスモデルを用いたカンジダ属の病原性評価	平山 達朗	呼吸器内科(第二内科)	1,600,000	補助委 日本学術振興会
セラミド含有exosomeを介した新規NAFLD進展メカニズムの解明	福島 真典	消化器内科	1,400,000	補助委 日本学術振興会
血液透析患者の心血管イベントの実態を明らかにする地域密着型コホート研究	北村 峰昭	血液浄化療法部	1,400,000	補助委 日本学術振興会
皮膚感覚過敏の機序解明-脳機能評価を応用した新しい試み-	鍛塚 さやか	皮膚科・アレルギー科	1,800,000	補助委 日本学術振興会
原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析	佐藤 信也	血液内科(原研内科)	200,000	補助委 日本学術振興会
自己免疫疾患におけるMBFV遺伝子変異の病態修飾に関する研究	遠藤 友志郎	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,400,000	補助委 日本学術振興会
HER2陽性乳癌のイメージガイド手術におけるtracer検索	大坪 竜太	腫瘍外科(第1外科)	1,700,000	補助委 日本学術振興会
敗血症における腸管虚血の制御:循環作動薬および鎮静薬が腸管血流に与える影響	井上 陽香	麻酔科	2,200,000	補助委 日本学術振興会

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
男性骨粗鬆症の病態解明を目指したコホート調査:高解像度定量的CTによる解析	岡崎 成弘	整形外科	1,600,000	補助委 日本学術振興会
PRP徐放化温度応答性高分子ゲルによる骨膜下バイオリアクター技術の開発	古賀 喬充	顎口腔再生外科室	1,400,000	補助委 日本学術振興会
口腔癌細胞の浸潤を制御するリソソーム転写因子の同定と生体内動態の解析	坂元 裕	口腔顎顔面外科室	1,400,000	補助委 日本学術振興会
筋性拘縮の発生機序に関わる分子メカニズムの探索と理学療法的戦略の開発	本田 祐一郎	リハビリテーション部	1,200,000	補助委 日本学術振興会
生体における膝関節動態解析。健常、靭帯損傷、変形性関節症を含む。	中添 悠介	整形外科	1,600,000	補助委 日本学術振興会
臨床研究の質と研究者を取り巻く環境要因および心理的要因との関連	佐藤 俊太郎	臨床研究センター (臨床研究ユニット)	700,000	補助委 日本学術振興会
神経微小環境と胆道発癌に関する機序解明と治療標的の検討	田中 貴之	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
羊水由来細胞を応用した組織マイクロアージュ再構築による萎縮唾液腺の再生	楢原 峻	顎口腔再生外科室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
テキストマイニングを用いた入退院支援の質的分析	川崎 浩二	地域医療連携センター	1,400,000	補助委 日本学術振興会
膵島脂肪由来幹細胞シートにおける皮下と肝表面移植成果及び免疫応答能の差異の検討	池田 貴裕	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
バイオ3Dプリンターによるバイオ人工胆管技術に基づく胆道再生医療	浜田 隆志	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
内因性TCRおよびMHC発現を抑制した非自己T細胞によるT細胞輸注療法の開発	岡田 怜美	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補助委 日本学術振興会
ナノバブルを用いた新規根管洗浄システムの開発	中園 史子	歯科保存治療室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
頭頸部がん放射線治療時の口腔カンジダ症予防に関する多施設共同ランダム化比較試験	原田 沙織	口腔顎顔面外科室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
全身麻酔後の睡眠障害に起因する術後せん妄の軽減に関する研究	尾崎 由	麻酔・生体管理科	900,000	補助委 日本学術振興会
じん肺エックス線写真による診断精度向上に関する研究	芦澤 和人	がん診療センター	6,240,000	補助委 厚生労働省
ロボット型内視鏡操作支援システムのAIによる高度化と各種医療機器統合インターフェースとしての展開	江口 晋	移植・消化器外科	3,275,000	補助委 厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科	28,924,000	補助委 厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	江口 晋	移植・消化器外科	6,500,000	補助委 厚生労働省
非癌、慢性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキャッスルマン病、TAFRO症候群その類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療のガイドラインの策定に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	100,000	補助委 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	500,000	補助委 厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	350,000	補助委 厚生労働省
特異性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	補助委 厚生労働省
HTLV-1母子感染予防に関するエビデンス創出のための研究	森内 浩幸	小児科	600,000	補助委 厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	室田 浩之	皮膚科・アレルギー科	500,000	補助委 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	室田 浩之	皮膚科・アレルギー科	3,710,000	補助委 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	川崎 五郎	口腔外科	420,000	補助委 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	伊達木 澄人	小児科	100,000	補助委 厚生労働省
地域における包括的な輸血管理体制構築に関する研究	長井 一浩	眼科	195,550	補助委 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	細胞療法部	700,000	補助委 厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデル構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	松尾 朋博	泌尿器科	350,000	補助委 厚生労働省
地域医療構想を見据えた救急医療提供体制の構築に関する研究	高山 隼人	高度救命救急センター	200,000	補助委 厚生労働省
5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究－ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて－	田崎 修	地域医療支援センター	101,740	補助委 厚生労働省
シース探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシズマブの医師主導治験	川上 純	リウマチ・膠原病内科	99,970,000	補助委 日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法等の開発研究	柳原 克紀	検査部	9,000,000	補助委 日本医療研究開発機構
薬剤耐性真菌対策を含めた侵襲性真菌症の革新的検査と治療法に関する研究開発	河野 茂	第二内科	8,750,000	補助委 日本医療研究開発機構

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低分子化合物によるヒト肝前駆細胞を用いた肝硬変治療	江口 晋	移植・消化器外科	36,400,000	補 日本医療研究開発機構
侵襲性酵母感染症の病原性解明と疫学・診断法・制御法の研究	泉川 公一	感染制御教育センター	1,800,000	補 日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究	泉川 公一	感染制御教育センター	1,800,000	補 日本医療研究開発機構
特異性間質性肺炎の診断精度向上とエビデンス創出のためのクラウド型統合データベースとインタラクティブ診断システムの開発に関する研究	福岡 順也	病理部	250,000	補 日本医療研究開発機構
肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究	中尾 一彦	消化器内科	360,000	補 日本医療研究開発機構
抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1感染・発症予防法の開発に関する研究	森内 浩幸	小児科	650,000	補 日本医療研究開発機構
洞不全症候群の臨床情報・遺伝学的解析に基づくリスク層別化アルゴリズムの開発	前村 浩二	循環器内科	130,000	補 日本医療研究開発機構
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究	泉川 公一	感染制御教育センター	2,600,000	補 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	中尾 一彦	消化器内科	1,170,000	補 日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	森内 浩幸	小児科	1,040,000	補 日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	三浦 清徳	産科婦人科	520,000	補 日本医療研究開発機構
アレルギー性皮膚疾患の病態における発汗異常の解明と治療法の開発	室田 浩之	皮膚科・アレルギー科	2,574,000	補 日本医療研究開発機構
嚥下障害に対する包括的嚥下障害基礎訓練法の開発と有効性の検討	熊井 良彦	耳鼻咽喉科	260,000	補 日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	熊井 良彦	耳鼻咽喉科	260,000	補 日本医療研究開発機構
膿毒性乾癬に代表されるIL-36受容体拮抗因子欠損症に対する経皮的補充療法の開発	川上 純	リウマチ・膠原病内科	500,000	補 日本医療研究開発機構
低身長を伴った思春期早発症例における遺伝学的原因および臨床像の検討の研究	伊達木 澄人	小児科	350,000	補 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	阿比留 教生	内分泌・代謝内科	300,000	補 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
動脈硬化を中心とした生活習慣病関連因子の調査・研究	前田 陸浩(地域)	総合診療科	700,000	補 佐々町
「住み続けたい」を支える離島・へき地医療サポートモデルの構築	前田 陸浩	総合診療科	3,250,000	補 国立研究開発法人 科学技術振興機構
歯周疾患検診の実施及び評価と佐世保市の歯・口腔の健康づくりに関する研究	齋藤 俊行	予防歯科室	1,000,000	補 佐世保市
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科	370,000	補 佐世保市
家族性地中海熱(FMF)インフラマソームシグナル伝達異常をゲノム創薬で解決する開発研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	26,260,000	補 日本医療研究開発機構
トシリズマブ効果不十分の特異性多中心性キャスルマン病に対するシロリムスの医師主導治療	川上 純	リウマチ・膠原病内科	79,859,000	補 日本医療研究開発機構
難治性唾液腺萎縮症に対する高機能細胞治療薬E-MNCIに関する臨床研究	朝比奈 泉	硬組織疾患基盤研究センター	39,519,300	補 日本医療研究開発機構
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究 - IRUDにおける九州内診断拠点病院機能強化と新規疾患発見へ向けた取り組み	吉浦 孝一郎	ゲノム診療センター	10,400,000	補 日本医療研究開発機構
診療連携・国際連携をも視野にいた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究 - FROM-J長期観察研究担当、地区医師会との連絡調整	西野 友哉	腎臓内科	390,000	補 日本医療研究開発機構
ベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査に基づく予防医学に向けたエビデンスの創出研究 - ベッカー型筋ジストロフィーの自然歴研究	里 龍晴	小児科	195,000	補 日本医療研究開発機構
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究 - 長崎県のCT検診および画像解析に関する研究	芦澤 和人	がん診療センター	598,000	補 日本医療研究開発機構
発症時刻不明の急性期脳梗塞に対する適正な血栓溶解療法の推進を目指す研究 - 各地域における静注血栓溶解療法の施行体制の整備に関する検討および本臨床試験への患者登録	辻野 彰	脳神経内科	130,000	補 日本医療研究開発機構
AYA世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究 - 臨床研究データ管理と次期ALL臨床研究立案	宮崎 泰司	血液内科	1,820,000	補 日本医療研究開発機構
骨髄異形成症候群(MDS)のオミックス解析による治療反応性および病型進展の新たなバイオマーカーの同定とその実用化に関する研究 - 日本白血病研究グループ(JALSG)統括・被爆者骨髄からのMDS発症のメカニズムの解明	宮崎 泰司	血液内科	950,000	補 日本医療研究開発機構
TP53遺伝子変異陽性骨髄異形成症候群に対する新規治療戦略 - 症例の登録および検体の提供	宮崎 泰司	血液内科	910,000	補 日本医療研究開発機構
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立 - 拒絶反応を伴うC型肝炎再発に対するDAA治療	江口 晋	移植・消化器外科	200,000	補 日本医療研究開発機構
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究 - SUCCESS試験登録症例の臨床データ収集	松島 加代子	医療教育開発センター	195,000	補 日本医療研究開発機構
HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の診療ガイドラインに資する統合的レジストリの構築によるエビデンスの創出 - HTLV-1陽性難治性疾患診療ガイドラインに資するエビデンス創出	川上 純	リウマチ・膠原病内科	975,000	補 日本医療研究開発機構
関節エコーによる関節リウマチ診療の最適化・標準化 - 関節エコーによる関節リウマチ診断と病態評価の最適化	川上 純	リウマチ・膠原病内科	2,000,000	補 日本医療研究開発機構

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立 - 成人T細胞白血病症例登録、ゲノム解析に用いる検体収集、同種造血幹細胞移植を受ける症例の病態解析	澤山 靖	血液内科	390,000	補 委 日本医療研究開発機構
臨床試験と全国患者実態把握によるindolentATLに対する標準治療の開発研究 - ATL全国調査の研究調整と解析、JCOG1111C試験の解析	今泉 芳孝	血液内科	520,000	補 委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究 - HTLV-1(抗体)の検査法の改善、ガイドライン改定等、国内検査診断体制の強化	長谷川 寛雄	検査部	1,400,000	補 委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究 - 国内の妊婦HTLV-1キャリアの発生動向に基づく感染制御対策	三浦 清徳	産科婦人科	2,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膀胱癌の新規早期診断マーカー開発研究 - ①肺癌検診におけるEIA診断キットの有用性の検討、②発がんハイリスク患者群での尿中蛋白質断片の早期診断における有用性の前方向的な研究、③肺扁平上皮癌と小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発研究	迎 寛	呼吸器内科	975,000	補 委 日本医療研究開発機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究 - 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症児を対象としたバルガンシクロビルの有効性及び安全性を評価する第III相多施設共同単群オープンラベル医師主導治験	森内 浩幸	小児科	910,000	補 委 日本医療研究開発機構
乱用防止に資する医薬品の開発のための製剤学的アプローチに関する研究 - 乱用防止製剤の効果に関する製剤学的検証	佐々木 均	薬剤部	1,560,000	補 委 日本医療研究開発機構
低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝硬変治療 - 研究統括、肝組織採取法の検討及びNASH肝硬変モデルマウスへのClp移植	長井 一浩	細胞療法部	1,300,000	補 委 日本医療研究開発機構
迅速ウイルス検出機器導入実証 - 迅速ウイルス検出機器導入実証	柳原 克紀	検査部	3,567,597	補 委 日本医療研究開発機構
AIが抽出した特徴量と病理医の所見ならびに臨床情報や遺伝子データとの相関分析に関する研究	福岡 順也	病理部	11,488,000	補 委 国立研究開発法人産業技術総合研究所
負電荷ナノ粒子による標的化DDSプラットフォームの構築	佐々木 均	薬剤部	46,150,000	補 委 国立研究開発法人科学技術振興機構
StageIII結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験ACHIEVE Trial (JFMC47-1202-C3)	野中 隆	腫瘍外科	43,200	補 委 公益財団法人 がん集学的治療研究財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究-JDOIT3(追跡)	小出 優史	循環器内科	300,000	補 委 公益財団法人 日本糖尿病財団
高齢者化学療法未施行IIIB/IV期扁平上皮がんに対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第III相試験	山口 博之	呼吸器内科	108,000	補 委 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
歩行可能なデュシェンヌ型筋ジストロフィー(以下「DMD」という)の自然歴研究	里 龍晴	小児科	108,000	補 委 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
「生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー」(前向き観察研究)	江石 清行	心臓血管外科学	1,684,800	補 委 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
骨粗鬆症発症メカニズムの解明と創薬開発への試み	伊東 昌子	メディカル・ワークライフ バランスセンター	1,800,000	補 委 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ投与中の外科的切除可能性の検討(多施設共同臨床研究)LENS-HCC	江口 晋	移植・消化器外科	108,000	補 委 公益財団法人 バブリックヘルスリサーチセンター

小計 18件
計 268件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。
「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Satoh K, Fuse T, Nonaka T 他	脳神経内科	Postmortem Quantitative Analysis of Prion Seeding Activity in the Digestive System	Molecules. 2019 Dec 16;24(24):4601. doi: 10.3390/molecules24244601.	Original Article
2	Endo Y, Kawashiri SY, Koga T 他	リウマチ・膠原病内科	Reactive arthritis induced by active extra-articular tuberculosis; A case report	Medicine (Baltimore). Dec;98(49):e18008, 2019 (online)	Case Report
3	Akagi M, Umeda M, Hashizako M 他	リウマチ・膠原病内科	Drop Head Syndrome as a Rare Complication In Mixed Connective Tissue Disease	Intern Med. 2020 Mar 1; 59(5): 729-732. Published online 2019 Nov 18. doi: 10.2169/internalmedicine.3626-19 (online)	Case Report
4	Otsuka M, Koga T, Sumiyoshi R 他	リウマチ・膠原病内科	Rheumatoid arthritis-like active synovitis with T-cell activation in a case of idiopathic multicentric Castlemans disease: A case report	Medicine (Baltimore). May;98(18):e15237, 2019 (online)	Case Report
5	Iwamoto N, Kawakami A	リウマチ・膠原病内科	Recent findings regarding the effects of microRNAs on fibroblast-like synovial cells in rheumatoid arthritis	Immunol Med. 2019 Dec;42(4):156-161. doi: 10.1080/25785826.2019.1695490. Epub 2019 Nov 26. (online)	Original Article
6	Kawashiri SY, Iwamoto N, Ohba K 他	リウマチ・膠原病内科	Ultrasound-proven severe synovitis induced by PD-1 inhibitor therapy in a patient predisposed to seronegative inflammatory arthritis	Case Rep Rheumatol. 2019 Jul 24;2019:7340692. doi: 10.1155/2019/7340692. eCollection 2019.	Case Report
7	Fukui S, Fujita Y, Origuchi T 他	リウマチ・膠原病内科	Serum complement factor C5a in IgG4-related disease	Ann. Rheum. Dis. 2019 Jul;78(7):e65. doi: 10.1136/annrheumdis-2018-213729. Epub 2018 Jun 6.	Original Article
8	Endo Y, Koga T, Kawashiri SY 他	リウマチ・膠原病内科	Anti-citrullinated protein antibody titre as a predictor of abatecept treatment persistence in patients with rheumatoid arthritis: a prospective cohort study in Japan	Scand J Rheumatol. 2020 Jan;49(1):13-17. doi: 10.1080/03009742.2019.1627411. Epub 2019 Aug 12.	Original Article
9	Shimizu T, Nakamura H, Takatani A 他	リウマチ・膠原病内科	Activation of Toll-like receptor 7 signaling in labial salivary glands of primary Sjögren's syndrome patients	Clin Exp Immunol. 2019 Apr;195(1):39-51. doi: 10.1111/cei.13242. Epub 2018 Nov 28.	Original Article
10	Koga T, Sato T, Furukawa K 他	リウマチ・膠原病内科	Promotion of Calcium/calmodulin-dependent protein kinase 4 promotes GLUT1-dependent glycolysis in systemic lupus erythematosus	Arthritis Rheumatol. 2019 May;71(5):766-772. doi: 10.1002/art.40785. Epub 2019 Mar 20.	Original Article
11	Endo Y, Koga T, Nakashima M 他	リウマチ・膠原病内科	Atypical phenotype without fever in a Japanese family with an autosomal dominant transmission of familial Mediterranean fever due to heterozygous MEFV Thr577Asn mutations	Clin Exp Rheumatol. Nov-Dec 2019;37 Suppl 121(6):161-162. Epub 2019 Sep 23.	Original Article
12	Ichinose K, Kitamura M, Sato S 他	リウマチ・膠原病内科	Complete renal response at 12 months after induction therapy is associated with renal relapse-free rate in lupus nephritis: a single-center, retrospective cohort study	Lupus. 2019 Apr;28(4):501-509. doi: 10.1177/095120319829827. Epub 2019 Feb 12.	Original Article
13	Takazono T, Saijo T, Ashizawa N 他	第二内科	Sheppard: Clinical features and cause analysis of false positive results of Aspergillus galactomannan assay in pulmonary	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2019 Apr;38(4):735-741. doi: 10.1007/s10096-019-03469-3. Epub 2019 Jan 25.	Original Article
14	Fukuda M, Kitazaki T, Ogawara D 他	臨床腫瘍科	Randomized phase II study of pemetrexed or pemetrexed plus bevacizumab for elderly patients with previously untreated non-squamous non-small cell lung cancer: Results of the Lung Oncology Group in Kyushu (LOGIK1201)	Lung Cancer. 2019 Jun;132: 1-8. doi: 10.1016/j.lungcan.2019.01.008. Epub 2019 Apr 5.	Original Article
15	Sakamoto N, Hara S, Ishimoto H 他	第二内科	Serum Soluble Interleukin-2 Receptor Is a Biomarker for Pneumocystis jirovecii Pneumonia among Patients with Rheumatoid Arthritis under Methotrexate Therapy	Tohoku J Exp Med.2019 Jul;248(3):209-215. , doi: 10.1620/tjem.248.209.	Original Article
16	Taniguchi H, Yamaguchi H, Dotsu Y 他	第二内科	Phase II study of nedaplatin and amuricin as first-line treatment for advanced squamous cell lung cancer	Thorac Cancer.2019 Sep;10(9): 1764-1769. doi: 10.1111/1759-7714.13134. Epub 2019 Jul 16.	Original Article
17	Haraguchi M, Miuma S, Masumoto H 他	消化器内科	Bacteroides in colonic mucosa-associated microbiota affects the development of minimal hepatic encephalopathy in patients with cirrhosis	Hepatol Int.2019 Jul; 13(4): 482-489. doi: 10.1007/s12072-019-09953-2. Epub 2019 Jul 9.	Original Article
18	Akashi T, Isomoto H, Matsushima K 他	消化器内科	A novel method for rapid detection of a Helicobacter pylori infection using a γ -glutamyltranspeptidase-activatable fluorescent probe	Sci Rep. 2019 Jul 1;9(1): 9467. doi: 10.1038/s41598-019-45768-x. (online)	Original Article
19	Yamashima M, Miyaaki H, Miuma S 他	消化器内科	The Long-term Efficacy of Sodium Glucose Co-transporter 2 Inhibitor in Patients with Non-alcoholic Fatty Liver Disease	Intern Med. 2019;58(14): 1987-1992. doi: 10.2169/internalmedicine.2556-18. Epub 2019 Jul 15. (online)	Original Article
20	Ueki N, Akazawa Y, Miura S 他	地域病理診断支援センター	Significant association between 53 BP1 expression and grade of intraepithelial neoplasia of esophagus: Alteration during esophageal carcinogenesis	Pathol Res Pract. 2019 Nov; 215(11): 152601. doi: 10.1016/j.prp.2019.152601. Epub 2019 Aug 16.	Original Article
21	Sasaki R, Fukushima M, Haraguchi M 他	消化器内科	Response to Lenvatinib Is Associated with Optimal Relative Dose Intensity in Hepatocellular Carcinoma: Experience in Clinical Settings	Cancers 11(11): pii: E1769, 2019. (Cancers (Basel) . 2019 Nov 10;11(11):1769. doi: 10.3390/cancers11111769.) (online)	Original Article
22	Akazawa Y, Ito M, Naito S 他	消化器内科	Gray Matter Heterotopia: Histological Evidence of Intrauterine Radiation Exposure in a Nagasaki Atomic Bomb Survivor	Radiat Res. 2019 Dec;192(6): 666-667. doi: 10.1667/RR15390.1. Epub 2019 Sep 27.	Case Report
23	Ikeda S, Koga S, Yamagata Y 他	循環器内科	Pulmonary Thromboembolism Caused by Calcification in the Inferior Vena Cava of a Japanese Adult	Intern Med. 2019 Jul 1;58(13): 1907-1912. doi: 10.2169/internalmedicine.2259-18. Epub 2019 Mar 28. (online)	Case Report
24	Izumida S, Kawano H, Muroya T 他	循環器内科	The Relationship between Circulating Polyunsaturated Fatty Acid Levels and Exercise Responses of Patients with Non-ischemic Heart Failure	Intern Med. 2019;58(22): 3219-3225. doi: 10.2169/internalmedicine.2849-19. Epub 2019 Nov 15. (online)	Original Article

小計24件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
25	Kawano H, Fujiwara A, Kai H 他	循環器内科	Effects of blood pressure lowering in patients with heart failure with preserved ejection fraction: a systematic review and meta-analysis	Hypertens Res. 2019 Apr;42(4):504-513. doi: 10.1038/s41440-019-0216-8. Epub 2019 Apr 5.	Original Article
26	Kawano H, Hayashi T, Koide Y 他	循環器内科	Long-Term Myocardial Damage in Peripartum Cardiomyopathy Associated With Myocarditis	Circ J. 2019 Nov 25;83(12):2569. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0493. Epub 2019 Aug 31.	Original Article
27	Kuwasaki S, Koga S, Akashi R 他	循環器内科	Influence of Tyrosine Kinase Inhibitor, Nilotinib, on Delayed Healing of Bare-Metal Stents in Superficial Femoral Arteries: Insights From Angioscopic Findings	JACC Cardiovasc Interv. 2019 May 27;12(10):e85-e86. doi: 10.1016/j.jcin.2019.02.025. Epub 2019 Apr 24. (online)	Case Report
28	Okamura G, Kawano H, Yoshida N 他	循環器内科	Successful Treatment With Rivaroxaban for an Acute Pulmonary Thromboembolism in a Patient With Primary Antiphospholipid Antibody Syndrome	J Cardiol Cases. 2020 Feb; 21(2): 79-81. (online)	Case Report
29	Sato D, Ikeda S, Koga S 他	循環器内科	Effectiveness and safety of oral direct factor Xa inhibitors for the treatment of venous thromboembolism in patients with cancer and/or older age	Heart Vessels. 2019 Apr;34(4):678-687. doi: 10.1007/s00380-018-1283-5. Epub 2018 Oct 19.	Original Article
30	Morimoto Y, Yoshida S, Kinoshita A 他	精神科神経科	Nonsense mutation in CFAP43 causes normal-pressure hydrocephalus with ciliary abnormalities	Neurology. May 14, 2019; 92 (20) First published April 19, 2019. DOI: https://doi.org/10.1212/WNL.00000000000007505	Original Article
31	Sakamoto Hikaru, Itonaga Hidehiro, Taguchi Jun 他	血液内科	Central nervous system post-transplant lymphoproliferative disorder after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: The Nagasaki transplant group experience	Leuk Res Rep. 2019 Apr 22;11:27-30. doi: 10.1016/j.lrr.2019.04.003. eCollection 2019.	Case Report
32	Toizumi M, Do CGT, Motomura H 他	小児科	Characteristics of Patent Ductus Arteriosus in Congenital Rubella	Sci Rep. 2019 Nov 19;9(1):17105. doi: 10.1038/s41598-019-52936-6. (online)	Original Article
33	Hamaguchi Y, Aoki M, Watanabe S 他	小児科	KAT6B-related disorder in a patient with a novel frameshift variant (c.3925dup).	Hum Genome Var 2019 Dec 13;6:54 (online)	Original Article
34	Huang Y, Sakai Y, Hara T 他	第二外科	Development of Bifunctional Three-Dimensional Cysts from Chemically Induced Liver Progenitors	Stem Cells Int. 2019 Sep 3;2019:3975689. doi: 10.1155/2019/3975689. eCollection 2019. (online)	Original Article
35	Huang Y, Yamanouchi K, Sakai Y 他	第二外科	Fabrication of Functional Cell Sheets with Human Thyrocytes from Non-Tumorous Thyroid Tissue	Tissue Eng Regen Med. 2019 Jul 5;16(5):491-499. doi: 10.1007/s13770-019-00198-8. eCollection 2019 Oct.	Original Article
36	Kobayashi S, Inoue Y, Fujita F 他	第二外科	Extent of intraluminal exfoliated malignant cells during surgery for colon cancer: Differences in cell abundance ratio between laparoscopic and open surgery	Asian J Endosc Surg. 2019 Apr;12(2):145-149. doi: 10.1111/ases.12617. Epub 2018 Jul 11.	Original Article
37	Kosaka T, Eguchi S, Hidaka M 他	第二外科	IVC angioplasty using an autologous vascular graft for IVC stenosis due to metallic stent in a pediatric liver transplant	Pediatric Transplantation. 2019 Aug;23(5):e13475. doi: 10.1111/ptr.13475. Epub 2019 May 24.	Case Report
38	Meng X, Yamanouchi K, Kuba S 他	第二外科	Giant fibroadenoma of the breast: A rare case in a mature woman	Int J Surg Case Rep. 2019;53:36-39. doi: 10.1016/j.ijscr.2019.09.015. Epub 2019 Sep 20. (online)	Original Article
39	Mine Y, Fujita F, Murase T 他	第二外科	Heat Shock Protein 70 Messenger RNA in Rat Leukocytes Elevates After Severe Intestinal Ischemia-Reperfusion	J Surg Res. 2019 Oct;242:342-348. doi: 10.1016/j.jss.2019.04.074. Epub 2019 May 24.	Original Article
40	Pravisan R, Soyama A, Takatsuki M 他	第二外科	Relationship Between Venous Drainage Patterns and Regeneration of Segments 5 and 8 in Right Lobe Grafts in Adult Living-Donor Liver Transplant Recipients	Exp Clin Transplant. 2019 Aug;17(4):529-535. doi: 10.6002/ect.2018.0155. Epub 2019 Apr 17.	Original Article
41	Pravisan R, Soyama A, Takatsuki M 他	第二外科	Impact of the Inferior Right Hepatic Veins on Right Liver Lobe Regeneration in Living-Donor Liver Transplant: 3-Dimensional Computed Tomography Scan Analyses in Donors and Recipients	Exp Clin Transplant. 2019 Dec;17(6):768-774. doi: 10.6002/ect.2018.0254. Epub 2019 Apr 9.	Original Article
42	Sakai Y, Koike M, Murai T 他	第二外科	In vitro and in vivo fabrication of stable human hepatocyte tissue in combination with normal fibroblasts derived from donors of various ages	J Biosci Bioeng. 2019 Dec;128(6):766-772. doi: 10.1016/j.jbiosc.2019.05.009. Epub 2019 Jun 13.	Original Article
43	Tanaka A, Matsuse M, Saenko V 他	第二外科	TERT mRNA Expression as a Novel Prognostic Marker in Papillary Thyroid Carcinomas	Thyroid. 2019 Aug;29(8):1105-1114. doi: 10.1089/thy.2018.0695. Epub 2019 Aug 5.	Original Article
44	Pravisan R, Baccarani U, Eguchi S	第二外科	In search of a pathogenesis for impaired liver regeneration after major hepatectomy with extrahepatic bile duct resection: The plot thickens!	Hepatol Res. 2019 Oct;49(10):1091-1093. doi: 10.1111/hepr.13414.	Original Article
45	Atsushi Tagami, Masato Tomita, Shinji Adachi 他	整形外科	Epidemiological survey and risk factor analysis of dialysis-related amyloidosis including destructive spondyloarthropathy, dialysis amyloid arthropathy, and carpal tunnel syndrome	J Bone Miner Metab. 2020 Jan;38(1):78-85. doi: 10.1007/s00774-019-01028-6. Epub 2019 Aug 14.	Original Article
46	Makoto Era, Ko Chiba, Yuichiro Nishino 他	高度救命救急センター	The effects of volar locking plates for distal radius fractures on the image quality of high-resolution peripheral quantitative computed tomography	Bone. 2019 Oct;127:620-625. doi: 10.1016/j.bone.2019.07.025. Epub 2019 Jul 31.	Original Article
47	Kazuteru Shiraishi, Ko Chiba, Narihiro Okazaki 他	整形外科	In vivo analysis of subchondral trabecular bone in patients with osteoarthritis of the knee using second-generation high-resolution peripheral quantitative computed tomography (HR-pQCT)	Bone. 2020 Mar;132:115155. doi: 10.1016/j.bone.2019.115155. Epub 2019 Nov 14.	Original Article
48	Naoki Iwamoto, Shuntaro Sato, Remi Sumiyoshi 他	リウマチ・膠原病内科	Comparative study of the inhibitory effect on bone erosion progression with denosumab treatment and conventional treatment in rheumatoid arthritis patients: study protocol for an open-label randomized controlled trial by HR-pQCT	Trials. 2019 Aug 13;20(1):494. (online)	Original Article
49	Kuwatsuka Y, Murota H	皮膚科	Involvement of Perioisin in Skin Function and the Pathogenesis of Skin Diseases	Adv Exp Med Biol. 2019;1132:89-98. doi: 10.1007/978-981-13-6657-4_10. 2019/5/9 First Online: 30 April 2019	Review
50	Murota H, Yamaga K, Ono E 他	皮膚科	Why does sweat lead to the development of itch in atopic dermatitis?	Exp Dermatol. 2019 Dec;28(12):1416-1421. doi: 10.1111/exd.13981. Epub 2019 Jul 3.	Review
51	Miyata Y, Matsuo T, Mitsunari K 他	泌尿器科・腎移植外科	A Review of Oxidative Stress and Urinary Dysfunction Caused by Bladder Outlet Obstruction and Treatments Using Antioxidants	2019Antioxidants (Basel). 2019 May 15;8(5):132. doi: 10.3390/antiox8050132. (online)	Review
52	Matsuo T, Miyata Y, Nakamura T 他	泌尿器科・腎移植外科	Efficacy of mirabegron for overactive bladder with human T cell lymphotropic virus-1 associated myelopathy	Low Urin Tract Symptoms. 2019 Apr;11(2):065-070. doi: 10.1111/luts.12218. Epub 2018 Feb 22.	Original Article
53	Shida Y, Hekariya T, Miyata Y 他	泌尿器科・腎移植外科	Three cases of brain metastasis from castration-resistant prostate cancer	Clin Case Rep. 2019 Apr;11(2):065-070. (online)	Case Report
54	Araki K, Miyata Y, Nakamura Y 他	泌尿器科・腎移植外科	Four-weekly Low-dose Gemcitabine and Paclitaxel in Patients With Platinum-resistant Urothelial Cancer and Performance Status 2/3	In Vivo. Nov-Dec 2019;33(6):2217-2224. doi: 10.21873/in vivo.11725.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月号	論文種別
55	Nakamura Y, Miyata Y, Matsuo T 他	泌尿器科・腎移植外科	Stage-specific embryonic antigen-4 is a histological marker reflecting the malignant behavior of prostate cancer	Glycoconj J. 2019 Oct;36(5):409-418. doi: 10.1007/s10719-019-09882-2. Epub 2019 Jun 26.	Original Article
56	Nakamura Y, Miyata Y, Takehara K 他	泌尿器科・腎移植外科	The Pathological Significance and Prognostic Roles of Thrombospondin-1, and -2, and 4NIK-peptide in Bladder Cancer	Anticancer Res. 2019 May;39(5):2317-2324. doi: 10.21873/anticancer.13348.	Original Article
57	Mohamed YH, Uematsu M, Ueki R 他	眼科	Safety of sodium hyaluronate eye drop with C12-benzalkonium chloride	Cutan Ocul Toxicol. 2019 Jun;38(2):156-160. doi: 10.1080/15569527.2018.1543316. Epub 2019 Jan 16.	Original Article
58	Tsuiki E, Kusano M, Kitacka T	眼科	Complication associated with intravitreal injection of tissue plasminogen activator for treatment of submacular hemorrhage due to rupture of retinal arterial macroaneurysm	Am J Ophthalmol Case Rep. 2019 Sep 19;16:100556. doi: 10.1016/j.joc.2019.100556. eCollection 2019 Dec. (online)	Original Article
59	Dateki S, Watanabe S, Mishima H 他	小児科	Kinoshita Children's ClinicA homozygous splice site ROBO1 mutation in a patient with a novel syndrome with combined pituitary hormone deficiency	J Hum Genet. 2019 Apr;64(4):341-346. doi: 10.1038/s10038-019-0566-8. Epub 2019 Jan 28.	Original Article
60	Ishimaru H, Yoshimi S, Akita S	放射線科	Treatment of periorbital and palpebral arteriovenous malformations	Adv Wound Care (New Rochelle). 2019 Jun 1;8(6):256-262. doi: 10.1089/wound.2018.0846. Epub 2019 Jun 6.	Original Article
61	Shimada T, Higashijima A, Fukushima A 他	産科婦人科	Malignant transformation from mature cystic teratoma of the ovary	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Sep;45(9):1957-1960. doi: 10.1111/jog.14043. Epub 2019 Jun 19.	Original Article
62	Murakami N, Kitajima M, Ohyama K 他	産科婦人科	Comprehensive immune complexome analysis detects disease-specific immune complex antigens in seminal plasma and follicular fluids derived from infertile men and women	Clin Chim Acta. 2019 Aug;495:545-551. doi: 10.1016/j.cca.2019.05.031. Epub 2019 May 31.	Original Article
63	Noguchi M, Kitajima M, Abe S 他	産科婦人科	Huge uterine fibroid arising from primary uterine cervical diberticulum : a case report and review of the literatures	J Obstet Gynaecol. 2019 Nov;38(8):1186-1187. doi: 10.1080/01443615.2019.1588237. Epub 2019 Jun 18.	Original Article
64	Yoshizaki M, Murata H, Ogami-Takamura K 他	麻酔科	Bilateral erector spinae plane block using a programmed intermittent bolus technique for pain management after Nuss procedure	J Clin Anesth. 2019 Nov;57:51-52. doi: 10.1016/j.jclinane.2019.03.014. Epub 2019 Mar 7.	Original Article
65	Murata H, Hida K, Ogami-Takamura K 他	麻酔科	Preliminary experience with ultrasound-guided thoracic paravertebral catheterization using a catheter-over-needle assembly	J Clin Anesth. 2019 Nov;57:72-73. doi: 10.1016/j.jclinane.2019.03.018. Epub 2019 Mar 16.	Original Article
66	Murata H, Ichinomiya T, Hara T	麻酔科	Anesthesia for peroral endoscopic myotomy in Japan	Curr Opin Anaesthesiol. 2019 Aug;32(4):511-516. doi: 10.1097/ACO.0000000000000742.	Original Article
67	T Izumo, Y Morofuji, K Hayashi 他	脳神経外科	Surgical Treatment of Ruptured Anterior Circulation Aneurysms: Comparative Analysis of Modified Mini-Pterional and Standard Pterional Craniotomies	Neurol India. Sep-Oct 2019;67(5):1248-1253. doi: 10.4103/0028-3886.271261.	Original Article
68	T Izumo, K Ujifuku, S Baba 他	脳神経外科	Initial Experience of ORBEYE Surgical Microscope for Carotid Endarterectomy	Asian J Neurosurg. Jul-Sep 2019;14(3):839-842. doi: 10.4103/ajns.AJNS.242.18.	Original Article
69	S Baba, V A Vakorin, S M Doesburg 他	脳神経外科	EEG before and after total corpus callosotomy for pharmacoresistant infantile spasms: Fast oscillations and slow-wave connectivity in hypsarrhythmia	Epilepsia. 2019 Sep;60(9):1849-1860. doi: 10.1111/epi.16295. Epub 2019 Aug 13	Original Article
70	T Fujimoto, Y Morofuji, R Takahira 他	脳神経外科	Surgery for a Refractory Chronic Subdural Hematoma Using an Exoscope:A Technical Case Report	No Shinkel Geka. 2019 Apr;47(4):429-434. doi: 10.11477/mf.1436203955.	Original Article
71	K Ozono, Y Morofuji, E Sadakata 他	脳神経外科	Open Surgery Following Transarterial Embolization for Cavernous Sinus Dural Arteriovenous Fistula	No Shinkel Geka. 2019 Apr;47(4):435-440. doi: 10.11477/mf.1436203957.	Original Article
72	K Ide, Y Morofuji, T Izumo 他	脳神経外科	Middle Cerebral Artery Fenestration with M2 Fusion Detected during Aneurysm Clipping:A Case Report	No Shinkel Geka. 2019 Oct;47(10):1089-1092. doi: 10.11477/mf.1436204078.	Original Article
73	Saijo H, Suzuki K, Yoshimoto H 他	形成外科	Paracrine Effects of Adipose-Derived Stem Cells Promote Lymphangiogenesis in Irradiated Lymphatic Endothelial Cells	Plastic and Reconstructive Surgery: June 2019 - Volume 143 - Issue 6 - p 1189e-1200e doi: 10.1097/PRS.0000000000000569 (online)	Original Article
74	Kashiyama Kazuya, Takahara Eisaku, Ohshiro Yuria	形成外科	Reconstruction of tracheocutaneous fistula with a rhomboid flap	Respir Med Case Rep. 2019 Sep 16;28:100934. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.100934. eCollection 2019.	Original Article
75	Eishi J, Miura T, Obase K 他	心臓血管外科	Total root remodelling by the Sleeve technique for aortic regurgitation in patients with repaired tetralogy of Fallot	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Dec 1;56(6):1196-1198. doi: 10.1093/ejcts/ezz140.	Original Article
76	Kaku N, Ohnishi T, Matsumoto T 他	検査部	Molecular characteristics of methicillin-resistant Staphylococcus aureus isolated from skin and soft tissue infections collected in the Japanese nationwide surveillance	J Dermatol. 2019 Dec;46(12):1205-1209. doi: 10.1111/1346-8138.15093. Epub 2019 Sep 25.	Original Article
77	Kawamoto Y, Kosai K, Yamakawa H 他	検査部	Detection of extended-spectrum β -lactamase (ESBL)-producing Enterobacteriaceae using the MALDI Biotyper Selective Testing of Antibiotic Resistance- β -Lactamase (MBT STAR-BL) assay	J Microbiol Methods. 2019 May;160:154-155. doi: 10.1016/j.jmimet.2019.03.019. Epub 2019 Mar 20.	Original Article
78	Miyazaki T, Yanagihara K, Kakeya H 他	第二内科	Daily practice and prognostic factors for pneumonia caused by methicillin-resistant Staphylococcus aureus in Japan: A multicenter prospective observational cohort study	J Infect Chemother. 2020 Feb;26(2):242-251. doi: 10.1016/j.jiac.2019.08.018. Epub 2019 Sep 28.	Original Article
79	Yanagihara K	検査部	The role of molecular diagnosis in acute respiratory tract infection	Respir Investig. 2019 Nov;57(6):511. doi: 10.1016/j.resiv.2019.06.007. Epub 2019 Sep 7. No abstract available.	Original Article
80	Yanagihara K, Matsumoto T, Aoki N 他	検査部	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for clinical microbiology in 2014: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility	J Infect Chemother. 2019 Sep;25(9):657-668. doi: 10.1016/j.jiac.2019.05.006. Epub 2019 Jun 10.	Original Article
81	Tashiro M, Takazono T, Saijo T 他	感染制御教育センター	Selection of oral antifungals for initial maintenance therapy in chronic pulmonary aspergillosis: A longitudinal analysis	Clin Infect Dis. 2020 Feb 14;70(5):835-842. doi: 10.1093/cid/ciz287.	Original Article
82	Takazono T, Saijo T, Ashizawa N 他	第二内科	Clinical features and cause analysis of false positive results of Aspergillus galactomannan assay in pulmonary cryptococcosis patients	Eur J Clin Microbiol Infect Dis 38(4):735-741,2019. Epub 2019 Jan 25	Original Article
83	Okada Y, Kaku N, Kosai K 他	検査部	Molecular epidemiology of Clostridioides difficile and risk factors for the detection of toxin gene-positive strains	J Infect Chemother 25(4):262-266, 2019. Epub 2019 Jan 12	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
84	Nishimura F, Uno N, Chiang PC 他	検査部	The Effect of In Vitro Hemolysis on Measurement of Cell-Free DNA	J Appl Lab Med. 2019 Sep;4(2):235-240. doi: 10.1373/jalm.2018.027953. Epub 2019 Jun 25.	Original Article
85	Zaizen Y, Kohashi Y, Kuroda K 他	病理部	Concordance between sequential transbronchial lung cryobiopsy and surgical lung biopsy in patients with diffuse interstitial lung disease	Diagn Pathol. 2019 Dec 4;14(1):131. doi: 10.1186/s13000-019-0908-z. (online)	Original Article
86	Futakuchi M, Lami K, Tachibana Y 他	病理部	The Effects of TGF-beta Signaling on Cancer Cells and Cancer Stem Cells in the Bone Microenvironment	Int J Mol Sci. 2019 Oct 15;20(20). pii: E5117. doi:10.3390/ijms20205117. (online)	Original Article
87	Akazawa Y, Nakashima R, Matsuda K 他	消化器内科	Detection of DNA damage response in nonalcoholic fatty liver disease via p53-binding protein 1 nuclear expression	Mod Pathol. 2019 Jul;32(7):997-1007. doi: 10.1038/s41379-019-0218-8. Epub 2019 Feb 26.	Original Article
88	Yoshiaki Zaizen, MDa, 他	病理部	Pathology of Idiopathic Interstitial Pneumonias	Surg Pathol Clin. 2020 Mar;13(1):91-118. doi: 10.1016/j.path.2019.11.006. Epub 2019 Dec 24.	Review
89	Nakamichi S, Origuchi T, Fukui S 他	総合診療科	A Rare Case of Cryopyrin-associated Periodic Syndrome in an Elderly Woman with NLRP3 and MEFV Mutations	Intern Med. 2019 Apr 1;58(7):1017-1022. doi: 10.2169/innermedicine.1401-18. Epub 2018 Dec 18. (online)	Case Report
90	Hirayama T, Nagata Y (Corresponding author), Nishida M 他	第二外科	Metformin Prevents Peritoneal Dissemination via Immune-suppressive Cells in the Tumor Microenvironment	Anticancer Res. 2019 Sep;39(9):4699-4709. doi: 10.21873/anticancer.13652.	Original Article
91	Horie N, Shobayashi K, Morofuji Y 他	脳神経外科	Impact of Mechanical Thrombectomy Device on Thrombus Histology in Acute Embolic Stroke	World Neurosurg. 2019 Dec;132:e418-e422. doi: 10.1016/j.wneu.2019.08.130. Epub 2019 Aug 27. (online)	Original Article
92	Tateishi Y, Kanamoto T, Yamashita K 他	脳神経内科	Biomarkers of Cardiac Dysfunction as Risk Factors in Cryptogenic Stroke	Cerebrovasc Dis. 2019;45(3-6):132-139. doi: 10.1159/000504014. Epub 2019 Nov 5.	Original Article
93	Morofuji Y, Horie N, Tateishi Y 他	脳神経外科	Arterial Spin Labeling Magnetic Resonance Imaging Can Identify the Occlusion Site and Collateral Perfusion in Patients with Acute Ischemic Stroke: Comparison with Digital Subtraction Angiography	Cerebrovasc Dis. 2019;45(1-2):70-76. doi: 10.1159/000503090. Epub 2019 Sep 25.	Original Article
94	Nakajima H, Ueno M, Adachi K 他	脳神経内科	A new heterozygous compound mutation in the CTSA gene in galactosialidosis	Hum Genome Var. 2019 Apr 26;6:22. doi: 10.1038/s41439-019-0054-x. eCollection 2019. (online)	Original Article
95	Ota Y, Kitamura M, Muta K 他	腎臓内科	Effect of statin on life prognosis in Japanese patients undergoing hemodialysis	PLoS One. 2019 Oct 22;14(10):e0224111. doi: 10.1371/journal.pone.0224111. eCollection 2019. (online)	Original Article
96	Kitamura M, Mochizuki Y, Miyata Y 他	腎臓内科	Pathological Characteristics of Periodontal Disease in Patients with Chronic Kidney Disease and Kidney Transplantation	Int J Mol Sci. 2019 Jul 11;20(14):3413. doi: 10.3390/ijms20143413. (online)	Review
97	Miyata Y, Obata Y, Mochizuki Y 他	泌尿器科・腎移植外科	Periodontal Disease in Patients Receiving Dialysis	Int J Mol Sci. 2019 Aug 3;20(15):3805. doi: 10.3390/ijms20153805. (online)	Review
98	Eto R, Kawano H, Horie I 他	循環器内科	Paraganglioma of the carotid body and intrapericardium	J Cardiol Cases. 2020 Feb; 21(2): 63-66.	Case Report
99	Niri T, Horie I, Ando T 他	生活習慣病予防診療部	Renal function and plasma renin activity as potential factors causing hyperkalemia in patients with thyroid carcinoma undergoing thyroid hormone withdrawal for radioactive iodine therapy	Endocr Pract. 2020 Feb;26(2):197-206. doi: 10.4158/EP-2019-0374. Epub 2019 Oct 25.	Original Article
100	Kawano H, Ando T, Shida Y 他	循環器内科	Isolated left adrenal medullary hyperplasia	J Cardiol Cases. 2019 Sep 8;21(1):16-19. doi: 10.1016/j.jccase.2019.08.018. eCollection 2020 Jan.	Case Report
101	Ito A, Kamata A, Nozaki A 他	生活習慣病予防診療部	Hypothyroidism could be a potential factor to prolong subcutaneous nodules of exenatide once weekly: a case report	AAE Clin Case Rep. 2019 Apr 25;5(3):e197-e200. doi: 10.4158/ACCR-2018-0418. eCollection May-Jun 2019. (online)	Case Report
102	Sekino M, Funaoka H, Sato S 他	集中治療部	Association between endotoxemia and enterocyte injury and clinical course in patients with gram-positive septic shock: A posthoc analysis of a prospective observational study	Medicine. July 2019 - Volume 98 - Issue 28 - p e16452 doi: 10.1097/MD.00000000000016452 (online)	Original Article
103	Kitamura M, Tateishi Y, Sato S 他	血液浄化療法部	Association between serum calcium levels and prognosis, hematoma volume, and onset of cerebral hemorrhage in patients undergoing hemodialysis	BMC Nephrol. 2019 Jun 7;20(1):210. doi: 10.1186/s12882-019-1400-4. (online)	Original Article
104	Takahashi Y, Sato S, Yamashita K 他	高度救命救急センター	Effects of a trauma center on early mortality after trauma in a regional city in Japan: a population-based study	Trauma Surg Acute Care Open. 2019 Jun 2;4(1):e000291. doi: 10.1136/tsaco-2018-000291. eCollection 2019. (online)	Original Article
105	Fukui S, Iwamoto N, Takatani A 他	リウマチ・膠原病内科	Antineutrophilic cytoplasmic antibody-associated vasculitis with and without renal involvement: C3 contributes to prognosis, but renal involvement does not	Int J Rheum Dis. 2019 May;22(5):789-796. doi: 10.1111/1756-185X.13422. Epub 2018 Nov 5.	Original Article
106	Tachibana Y, Taniguchi H, Kondoh Y 他	病理部	Pulmonary interstitial emphysema is a risk factor for poor prognosis and a cause of air leaks	Respir Investig. 2019 Sep;57(5):444-450. doi: 10.1016/j.resinv.2019.03.008. Epub 2019 Apr 28.	Original Article
107	Fukahori S, Kawano T, Obase Y 他	第二内科	Fluctuation of Hepatic Focal Nodular Hyperplasia Size with Oral Contraceptives Use	Am J Case Rep 2019; 20:1124-1127 DOI: 10.12659/AJCR.916398 Published: 2019-07-30	Case Report
108	Fukushima C, Matsuse H, Obase Y 他	第二内科	Liposomal amphotericin B fosters the corticosteroids' anti-inflammatory effect on murine allergic bronchopulmonary aspergillosis model airways	Inflammation. 2019 Dec;42(6):2065-2071. doi: 10.1007/s10753-019-01069-z.	Original Article
109	Endo Y, Koga T, Furukawa K 他	リウマチ・膠原病内科	Late-onset protracted febrile myalgia syndrome treated successfully with colchicine owing to heterozygous MEFV exon 2 variants	Clin Exp Rheumatol. Nov-Dec 2019;37 Suppl 121(6):166. Epub 2019 Jul 22.	Original Article
110	Toyama S, Takatani A, Koga T 他	リウマチ・膠原病内科	Gastric Perforation due to iatrogenic immunodeficiency-associated Lymphoproliferative Disorder during the Treatment of Rheumatoid Arthritis	Intern Med. 2019 Nov 15;58(22):3331-3336. doi: 10.2169/innermedicine.2782-19. Epub 2019 Jul 22. (online)	Case Report
111	Otsuka M, Koga T, Sumiyoshi R 他	リウマチ・膠原病内科	A case of neutrophilic dermatosis with MEFV gene variant and abnormal activation of peripheral blood monocytes: a case report	Immunol Med. 2019 Mar;42(1):45-49. doi: 10.1080/25785826.2019.1625507. Epub 2019 Jun 16. (Received 15 Mar 2019, Accepted 27 May 2019, Published online: 16 Jun 2019) (online)	Case Report
112	Aikawa E, Shimizu T, Koga T 他	リウマチ・膠原病内科	Atypical Familial Mediterranean Fever Complicated with Gastrointestinal Amyloidosis Diagnosed due to Paroxysmal Arthralgia and Intractable Diarrhea; Successfully Treated with Tocilizumab	Intern Med. 2019 Jun 15;58(12):1781-1785. doi: 10.2169/innermedicine.2277-185. Epub 2019 Feb 1. (online)	Case Report
113	Koga T, Sato T, Furukawa K 他	リウマチ・膠原病内科	Promotion of Calcium/Calmodulin-Dependent Protein Kinase 4 by GLUT1-Dependent Glycolysis in Systemic Lupus Erythematosus	Arthritis Rheumatol. 2019 May;71(5):766-772.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
114	Iwamoto N, Okamoto M, Tsuji S 他	リウマチ・膠原病内科	Denosumab is effective toward glucocorticoid-induced osteoporosis patients complicated with rheumatic diseases regardless of prior anti-osteoporotic drugs	J Bone Miner Metab. 2019 May;37(3):554-562. doi: 10.1007/s00774-018-0955-7. Epub 2018 Sep 5.	Original Article
115	Nakamura H, Shimizu T, Takatani A 他	リウマチ・膠原病内科	Initial human T-cell leukemia virus type 1 infection of the salivary gland epithelial cells requires a biofilm-like structure	Virus Res. 2019 Aug;269:197643. doi: 10.1016/j.virusres.2019.197643. Epub 2019 Jun 21.	Original Article
116	Kawashiri SY, Fujikawa K, Nishino A 他	リウマチ・膠原病内科	Combination of ultrasound power Doppler-verified synovitis and seropositivity accurately identifies patients with early rheumatoid arthritis	Int J Rheum Dis. 2019 May;22(5):842-851. doi: 10.1111/1756-185X.13543. Epub 2019 Mar 18.	Original Article
117	Kitamura M, Mochizuki Y, Kitamura S 他	血液浄化療法部	Prediction of Nonadherence and Renal Prognosis by Pre-Transplantation Serum Phosphate Levels	Ann Transplant. 2019 May 10;24:260-267. doi: 10.12659/AOT.914909.	Original Article
118	Kawashiri SY, Fujikawa K, Nishino A 他	リウマチ・膠原病内科	Combination of ultrasound power Doppler-verified synovitis and seropositivity accurately identifies patients with early-stage rheumatoid arthritis	Int J Rheum Dis. 2019 May;22(5):842-851. doi: 10.1111/1756-185X.13543. Epub 2019 Mar 18.	Original Article
119	Miyamura T, Sakamoto N, Kakugawa T 他	第二内科	Postoperative acute exacerbation of interstitial pneumonia in pulmonary and non-pulmonary surgery: a retrospective study	Respir Res. 2019 Jul 15;20(1):154. doi: 10.1186/s12931-019-1128-5. (online)	Original Article
120	Endo Y, Koga T, Tsutsui S 他	リウマチ・膠原病内科	Lung consolidation and mediastinal lymphadenopathy in patients with early anti-citrullinated protein antibody-positive rheumatoid arthritis	Clin Exp Rheumatol. May-Jun 2019;37(3):517-518. Epub 2019 Apr 29.	Original Article
121	Mori M, Hayashi H, Fukuda M 他	臨床腫瘍科	Clinical and computed tomography characteristics of non-small cell lung cancer with ALK gene rearrangement: Comparison with EGFR mutation and ALK/EGFR-negative lung cancer	Thorac Cancer 2019 Apr; 10(4): 872-879. Published online 2019 Feb 27. doi: 10.1111/1759-7714.13017	Original Article
122	Taniguchi H, Yamaguchi H, Dotsu Y 他	第二内科	Phase II study of nedaplatin and amrubicin as first-line treatment for advanced squamous cell lung cancer	Thorac Cancer. 2019 Sep;10(9):1764-1769. doi: 10.1111/1759-7714.13134. Epub 2019 Jul 16.	Original Article
123	Takazono T, Ito Y, Tashiro M 他	第二内科	Evaluation of Aspergillus-Specific Lateral-Flow Device Test Using Serum and Bronchoalveolar Lavage Fluid for Diagnosis of Chronic Pulmonary Aspergillosis	J Clin Microbiol. 2019 May; 57(5): e00095-19. Published online 2019 Apr 26. Prepublished online 2019 Mar 6. doi: 10.1128/JCM.00095-19	Original Article
124	Ashizawa N, Miyazaki T, Abe S 他	臨床腫瘍科	Evaluation of Candida peritonitis with underlying peritoneal fibrosis and efficacy of micafungin in murine models of intra-abdominal candidiasis	Sci Rep. 2019; 9: 9331. Published online 2019 Jun 27. doi: 10.1039/s41598-019-45776-x (online)	Original Article
125	Yamakawa H, Koshi K, Akamatsu N 他	検査部	Molecular and epidemiological analysis of IMP-1 metallo-β-lactamase-producing Klebsiella pneumoniae in a tertiary care hospital in Japan	J Infect Chemother. 2019 Apr;25(4):240-246. doi: 10.1016/j.jiac.2018.11.012. Epub 2019 Jan 2.	Original Article
126	Ideguchi S, Yamamoto K, Ikeda A 他	第二内科	A case of bilateral emphysematous pyelonephritis caused by Candida albicans	J Infect Chemother. 2019 Apr;25(4):302-305. doi: 10.1016/j.jiac.2018.10.011. Epub 2018 Nov 15.	Original Article
127	Miyazaki T, Fukushima K, Hashiguchi K 他	第二内科	Efficacy and safety of ceftiofen pivoxil for exacerbations of chronic obstructive pulmonary disease: a prospective multicenter interventional study	J Infect Chemother. 2019 Sep;25(9):702-707. doi: 10.1016/j.jiac.2019.03.018. Epub 2019 Apr 11.	Original Article
128	Miyazaki T, Nakamura S, Hashiguchi K 他	第二内科	The efficacy and safety of sitafloxacin and garenoxacin for the treatment of pneumonia in elderly patients: A randomized, multicenter, open-label trial	J Infect Chemother 25(11):886-893, 2019. Epub 2019 May 18	Original Article
129	Tsuchiya T, Matsumoto K, Miyazaki T 他	腫瘍外科	Concurrent chemoradiotherapy using cisplatin and S-1, followed by surgery for stage II/IIIA non-small cell lung cancer	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Jun;67(6):537-543. doi: 10.1007/s11748-018-01058-3. Epub 2019 Jan 23.	Original Article
130	Iwanaga N, Yamamoto K, Takazono T 他	第二内科	Munchausen syndrome mimicking refractory subcutaneous abscess with bacteremia, diagnosed by repetitive element sequence-based polymerase chain reaction: a case report	J Med Case Rep. 2019 Sep 12;13(1):287. doi: 10.1186/s13256-019-2212-7. (online)	Case Report

小計17件

計130件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を諮ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」 臨床研究利益相反審査委員会は、「利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。申告書により利益相反があきらかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付され	

た臨床研究実施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップを行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回
---------------------------------------	--------

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 14 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>下の研修等を本院臨床研究センター主催で実施した。</p> <p>○臨床研究に関する研修会（13回（内訳：講義型研修会11回，DVD研修会1回，e-ラーニング1回））</p> <p>内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について，EDCシステムREDCapのご紹介とデモンストレーション，Pilot studyの立案・実施のポイント，研究の実施体制と運用，研究不正と行動規範 等</p> <p>○治験・倫理審査委員会委員研修（1回）</p> <p>内容：臨床研究の審査に必要な知識とスキル</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本 19 領域のうちリハビリテーション科を除く 18 領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

歯科においては、1年の初期臨床研修に引き続き専門歯科医師の養成、地域歯科医療のリーダー育成および高齢者や有病者における全身管理を実践できる歯科医師の養成を目的として、20コース（選択制）の後期臨床研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	90人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ科	教授	35年	
川上 純	内分泌・代謝内科	教授	35年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	31年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	35年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	23年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	37年	
前村 浩二	循環器内科	教授	34年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	34年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	34年	

森内 浩幸	小児科	教授	36年	
室田 浩之	皮膚科	教授	24年	
小澤 寛樹	精神科	教授	35年	
永安 武	呼吸器外科	教授	33年	
江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	教授	28年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	38年	
尾崎 誠	整形外科	教授	29年	
三浦 清徳	産婦人科	教授	25年	
北岡 隆	眼科	教授	37年	
熊井 良彦	耳鼻いんこう科	教授	21年	
酒井 英樹	泌尿器科・腎移植外科	教授	37年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	31年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	39年	
原 哲也	麻酔科	教授	28年	
福岡 順也	病理診断科	教授	25年	
柳原 克紀	検査部	教授	29年	
田崎 修	救急科	教授	30年	
田中 克己	形成外科	教授	36年	
前田 隆浩	総合診療科	教授	35年	
藤原 卓	小児歯科	教授	37年	
吉田 教明	矯正歯科	教授	34年	
朝比奈 泉	歯科口腔外科	教授	37年	
鮎瀬 卓郎	麻酔・生体管理科	教授	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器 Babylog VN500）
- ・研修の期間・実施回数：令和元年5月14日・1回
- ・研修の参加人数：10名

- ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器 Infant Flow SiPAP）
- ・研修の期間・実施回数：令和元年9月18日・1回
- ・研修の参加人数：28名

- ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器 Servo-i）
- ・研修の期間・実施回数：令和元年9月24日・1回
- ・研修の参加人数：6名

- ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（経腸栄養ポンプカンガルーJoeyポンプ）
- ・研修の期間・実施回数：令和2年1月7日～令和2年2月19日・3回
- ・研修の参加人数：延べ23名

- ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（補助循環装置IMPELLA）
- ・研修の期間・実施回数：令和元年3月27日・1回
- ・研修の参加人数：22名

- ・研修の主な内容：フィジカルアセスメント講習会
- ・研修の期間・実施回数：毎年5月～3月：計12回
- ・研修の参加人数：24名（長崎県下薬局および病院勤務の薬剤師）

- ・研修の主な内容：新採用看護師オリエンテーション
- ・研修の期間・実施回数：年1回：2019年4月5日
- ・研修の参加人数：88名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：専門分野（がん看護）における質の高い看護師育成事業 ・研修の期間・実施回数：年1回：2019年10月16日 ・研修の参加人数：9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：長崎県緩和ケアチーム研修会 ・研修の期間・実施回数：年2回：2019年11月30日/2020年2月29日 ・研修の参加人数：約20名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：各病棟看護師スタッフ等への研修講義 ・研修の期間・実施回数：年8回 ・研修の参加人数：延べ96名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：糖尿病ケア専門コース受講者講習会 ・研修の期間・実施回数：年1回：2019年9月17日 ・研修の参加人数：11名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：褥瘡対策研修会 ・研修の期間・実施回数：年1回：2020年2月6日 ・研修の参加人数：90名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 ・研修の期間・実施回数：年1回：2019年6月25日 全職員対象 ・研修の参加人数：1937名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「褥瘡管理」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月6日～11月5日 全6回 ・研修の参加人数：22名(延べ132名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「ストーマケア」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月21日～11月8日 全6回 ・研修の参加人数：2名(延べ12名)

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「排尿ケア」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月26日～10月16日 全5回 ・研修の参加人数：12名(延べ60名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「感染管理」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月21日～12月6日 全6回 ・研修の参加人数：15名(延べ90名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「認知症看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月18日～11月19日 全6回 ・研修の参加人数：8名(延べ48名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「看護倫理」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月13日～2020年1月9日 全5回 ・研修の参加人数：13名(延べ65名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「周術期看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月6日～11月7日 全6回 ・研修の参加人数：3名(延べ18名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「急変対応【Basic】&【Advance】A」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月29日～7月20日 全11回 ・研修の参加人数：7名(延べ77名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「急変対応【Basic】&【Advance】B」 ・研修の期間・実施回数：2019年8月17日～9月21日 全11回 ・研修の参加人数：7名(延べ77名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「急変対応【Basic】&【Advance】C」 ・研修の期間・実施回数：2019年10月26日～11月30日 全11回 ・研修の参加人数：6名(延べ66名)

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「急変対応【expert】」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月25日～2020年1月28日 全8回 ・研修の参加人数：6名(延べ48名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「シミュレーション教育指導者養成」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月12日～12月11日 全7回 ・研修の参加人数：7名(延べ49名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「がん化学療法看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年9月28日 ・研修の参加人数：25名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「がん放射線療法看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年10月26日 ・研修の参加人数：29名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「緩和ケア」 ・研修の期間・実施回数：2019年8月31日/9月21日 全2回 ・研修の参加人数：16名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「糖尿病ケア」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月18日～11月16日 全6回 ・研修の参加人数：7名(延べ42名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「腎不全看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月11日～12月3日 全6回 ・研修の参加人数：3名(延べ18名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「重症心不全看護」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月19日～11月21日 全6回 ・研修の参加人数：9名(延べ54名)

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「治験と看護師の役割」 ・研修の期間・実施回数：2019年6月20日～11月21日 全5回 ・研修の参加人数：6名(延べ30名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護専門コース「退院支援」 ・研修の期間・実施回数：2019年7月17日～10月23日 全4回 ・研修の参加人数：23名(延べ92名)
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（閉鎖式保育器 前期） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月10日・1回 ・研修の参加人数：148名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工呼吸器 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年5月13日・1回 ・研修の参加人数：61名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用高エネルギー発生装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年7月4日・1回 ・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（血液浄化装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年7月18日・1回 ・研修の参加人数：108名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用放射線照射装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年8月8日・1回 ・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（除細動装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年8月30日・1回 ・研修の参加人数：129名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工心肺装置及び補助循環装置 前期） ・研修の期間・実施回数：令和元年9月26日・1回 ・研修の参加人数：106名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工呼吸器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和元年11月28日・1回 ・研修の参加人数：104名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（閉鎖式保育器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和元年12月16日・1回 ・研修の参加人数：153名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（血液浄化装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年1月22日・1回 ・研修の参加人数：93名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（除細動装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年2月18日・1回 ・研修の参加人数：127名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（人工心肺装置及び補助循環装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月12日・1回 ・研修の参加人数：108名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用高エネルギー発生装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月12日・1回 ・研修の参加人数：11名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修（診断用放射線照射装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月12日・1回 ・研修の参加人数：11名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（造影剤自動注入器） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月2日・1回 ・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（電気メス） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月5日・1回 ・研修の参加人数：20名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（透析液供給装置、溶解装置） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月16日・1回 ・研修の参加人数：5名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（経腸栄養ポンプ） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月17日・1回 ・研修の参加人数：69名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（内視鏡装置） ・研修の期間・実施回数：令和元年5月15日・1回 ・研修の参加人数：34名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（麻酔器） ・研修の期間・実施回数：令和元年5月16、5月17日・2回 ・研修の参加人数：17名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時研の修（RO水作製装置） ・研修の期間・実施回数：令和元年6月25日・1回 ・研修の参加人数：5名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（自己血回収装置） ・研修の期間・実施回数：令和元年6月26日・1回 ・研修の参加人数：15名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（汎用超音波画像診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和元年8月2日・1回 ・研修の参加人数：8名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（耳鼻咽喉科内視鏡システム） ・研修の期間・実施回数：令和元年8月6日・1回 ・研修の参加人数：11名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（汎用冷凍手術システム） ・研修の期間・実施回数：令和元年9月4日、10月8日・2回 ・研修の参加人数：25名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和元年10月31日～12月24日・6回 ・研修の参加人数：30名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（人工呼吸器） ・研修の期間・実施回数：令和2年1月22日～1月30日・3回 ・研修の参加人数：156名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（ポータブルX線撮影装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年1月30日・1回 ・研修の参加人数：29名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（IMPELLA 制御装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年2月10日、2月12日・2回 ・研修の参加人数：77名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（歯科用ユニット） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月23日～3月26日・3回 ・研修の参加人数：64名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（人工呼吸器） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月24日～3月26日・3回 ・研修の参加人数：62名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（造影剤自動注入器） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月25日・1回 ・研修の参加人数：22名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（血管造影装置） ・研修の期間・実施回数：令和2年3月26日・1回 ・研修の参加人数：27名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（輸液ポンプ・シリンジポンプ 前期） ・研修の期間・実施回数：平成31年4月4、4月8日・2回 ・研修の参加人数：127名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（輸液ポンプ・シリンジポンプ 後期） ・研修の期間・実施回数：令和元年10月25日・1回 ・研修の参加人数：117名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新採用薬剤師研修プログラム、 ・研修の期間・実施回数：6ヶ月（調剤業務48回、注射薬室業務30回、抗癌剤調製6-8回、麻薬業務2回） ・研修の参加人数：11名（勤務1年目の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：薬剤管理指導業務研修 ・研修の期間・実施回数：6ヶ月、週2時間 ・研修の参加人数：11名（勤務1年目の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：休日TDM測定業務研修 ・研修の期間・実施回数：2ヶ月間、計3回 ・研修の参加人数：7名（勤務2年目の薬剤師）

- ・研修の主な内容：昇任者研修(看護師長・副看護師長)
- ・研修の期間・実施回数：2019年3月8日～6月25日 全3回
- ・研修の参加人数：13名(延べ39名)

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- (注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
- (注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2.) 現状
管理責任者氏名	病院長 中尾 一彦
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 本田 秀史 医事課長 島田 邦博 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 栗原 慎太郎 人事企画課長 吉岡 裕敏 医療安全課長 梅嶋 敬三

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	※	
		看護記録	※	
		検査所見記録	※	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	※	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課、医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全課	

※手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書については、電子カルテ及び紙媒体にて、診療情報管理室で管理・保管している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療安全課 感染制御教育センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全課
		職員研修の実施状況	医療安全課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 薬剤部 ME機器センター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、人事企画課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 熊谷 圭司	
閲覧担当者氏名	総務課長 本田 秀史	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理に関する基本的考え方○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針○医療事故発生時の対応に関する基本方針○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針○患者等からの相談への対応に関する基本方針○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理委員会 (月1回開催)○リスクマネージャー会議 (月1回開催) <p>・ 開催状況：年24回 (書面会議1回含む。)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理委員会 (月1回開催)○リスクマネージャー会議 (月1回開催)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>①令和元年6月25日 第1回医療安全研修会</p> <p>「院内血糖管理マニュアルの改定ポイント」 生活習慣病予防診療部 鎌田 昭江 先生</p> <p>「医療機器の安全管理について」 ME機器センター 林 誠 副センター長</p> <p>②令和元年10月18日 第2回医療安全研修会</p> <p>「酸素の性質と院内ボンベの取扱い」 福岡酸素 (株) 長崎支社 医療ガス課 有吉 俊介氏</p>	

「インシデントレポートの書き方について」

安全管理部 GRM 後田 実知子看護師長

「最近の医療安全の動向」

安全管理部 部長 栗原慎太郎先生

③令和元年12月5日 第3回医療安全研修会

「医薬品安全管理手順書改定のポイント」

安全管理部 GRM/薬剤師 中川博雄先生

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - インシデントレポート報告システムの改良
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - 医療安全ポケットマニュアルの改訂
 - 安全管理部カンファレンス (週1回実施)

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1) 院内感染対策委員会の設置、2) 職員研修の実施、3) 病院感染発生時の対応、4) 院内感染対策マニュアルの策定、5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6) その他の病院における院内感染対策の推進</p> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開ICTラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数13名、計14名全員の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>①令和元年6月25日 第1回院内感染対策講習会 「2018年度 針刺し切創・皮膚粘膜曝露報告より」 長崎大学病院 感染制御教育センター 元川津留美 看護師長</p> <p>②令和元年8月23日 第2回院内感染対策講習会 「抗菌薬適正使用と感染制御の考え方～ひとりひとりができること」 富山大学附属病院 感染症科/感染制御部 教授 山本 善裕 先生</p> <p>③令和元年12月5日 第3回院内感染対策講習会 「かぜと抗菌薬と適正使用～未来のこどもたちのために～」 長崎大学病院 小児科 河田 宗一郎 先生</p> <p>④令和2年1月29日 臨時院内感染対策講習会-第1弾- 「新型コロナウイルス感染症 臨床像と当院の対応と感染対策のポイント」 長崎大学病院 感染制御教育センター センター長 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 臨床感染症学分野 教授 泉川 公一 先生</p> <p>⑤令和2年2月27日、28日 臨時院内感染対策講習会-第2弾- 「個人防護具の適切な着脱方法について～あなたが新型コロナウイルス感染症に感染しないために～」 長崎大学病院 感染制御教育センター 副センター長 田代 将人 先生</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。

また、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えたASTチームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗菌薬適正使用支援（ASP）活動を行っている。なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容： 令和元年度 第 3 回医療安全研修会 「医薬品安全管理手順書改訂のポイント」（講師：安全管理部 GRM 薬剤師） 実施日：令和1年12月5日、イントラネット動画研修、受講人員：2178 人（90%）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医薬品の採用・購入に関する事項 (改訂有り)2. 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理) (改訂有り)3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 (改訂有り)4. 患者に対する服薬指導に関する事項5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い (改訂有り)6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 (改訂有り)7. 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等9. 薬剤投与のための機器使用10. 放射性医薬品の管理 (改訂有り)11. 臨床検査薬の管理12. 造影剤の管理、使用 (改訂有り)13. 血液浄化療法部門 (新規)14. 外来化学療法部門 (新規)15. 院内製剤の取り扱いについて (改訂有り)16. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について (改訂あり)17. 当該手順書の順守状況の確認 (改訂有り) <p>実施状況：年 1 回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) : 無し
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

【収集方法】

未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) で把握している。その他の適応外使用等、未承認等の使用については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。

医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。

【周知方法】

未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。

改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科 (診療科長、医局長)、中央診療部 (部長、副部长等) に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報、安全性速報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム (DICS) には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																												
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 40 回																																																												
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新しい医療機器の導入時の研修</p> <p>特定機能病院における定期研修</p> <p>有効性・安全性に関する事項</p> <p>使用方法に関する事項</p> <p>保守点検に関する事項</p> <p>不具合が発生した場合の対応に関する事項</p> <p>使用に関して特に法令上遵守すべき事項など</p>																																																													
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																													
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>人工呼吸器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>輸液ポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>シリンジポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>経腸栄養ポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>除細動器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>閉鎖式保育器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>人工心肺装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>IABP</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>経皮的補助循環装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>フットポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>体外式ペースメーカー</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>補助人工心臓駆動装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>麻酔器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>電気手術器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>内視鏡装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>直線加速装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>診療用放射線照射装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>放射線関連装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>CT装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>MRI装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>心電計</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>脳波計</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>超音波診断装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>AED</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>血液浄化装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>透析液作製関連装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>手術支援ロボットシステム</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>超音波手術器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>歯科関連機器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr></table>		人工呼吸器	: 外観点検、性能・機能点検など	輸液ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	シリンジポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	経腸栄養ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	除細動器	: 外観点検、性能・機能点検など	閉鎖式保育器	: 外観点検、性能・機能点検など	人工心肺装置	: 外観点検、性能・機能点検など	IABP	: 外観点検、性能・機能点検など	経皮的補助循環装置	: 外観点検、性能・機能点検など	フットポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	体外式ペースメーカー	: 外観点検、性能・機能点検など	補助人工心臓駆動装置	: 外観点検、性能・機能点検など	麻酔器	: 外観点検、性能・機能点検など	電気手術器	: 外観点検、性能・機能点検など	内視鏡	: 外観点検、性能・機能点検など	内視鏡装置	: 外観点検、性能・機能点検など	直線加速装置	: 外観点検、性能・機能点検など	診療用放射線照射装置	: 外観点検、性能・機能点検など	放射線関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など	CT装置	: 外観点検、性能・機能点検など	MRI装置	: 外観点検、性能・機能点検など	心電計	: 外観点検、性能・機能点検など	脳波計	: 外観点検、性能・機能点検など	超音波診断装置	: 外観点検、性能・機能点検など	AED	: 外観点検、性能・機能点検など	血液浄化装置	: 外観点検、性能・機能点検など	透析液作製関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など	手術支援ロボットシステム	: 外観点検、性能・機能点検など	超音波手術器	: 外観点検、性能・機能点検など	歯科関連機器	: 外観点検、性能・機能点検など
人工呼吸器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
輸液ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
シリンジポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
経腸栄養ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
除細動器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
閉鎖式保育器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
人工心肺装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
IABP	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
経皮的補助循環装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
フットポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
体外式ペースメーカー	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
補助人工心臓駆動装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
麻酔器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
電気手術器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
内視鏡	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
内視鏡装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
直線加速装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
診療用放射線照射装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
放射線関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
CT装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
MRI装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
心電計	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
脳波計	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
超音波診断装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
AED	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
血液浄化装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
透析液作製関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
手術支援ロボットシステム	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
超音波手術器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												
歯科関連機器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																												

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 無
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。

機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 2 0 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として副病院長を充て、安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品医療機器等安全管理専門委員会、医療機器安全管理専門委員会の管理を行い、病院長のもと医療安全に資する対策の指示と確認を行う。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (12 名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>① <u>医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</u></p> <ol style="list-style-type: none">1) インターネットを利用した情報収集2) 学術雑誌等よりの情報収集3) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者よりの情報収集5) 資料の整理・保管・管理6) 書籍・雑誌等の購入 <p>② <u>医薬品に関する情報の伝達</u></p> <ol style="list-style-type: none">1) 医薬品集の作製、改訂2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有5) 他の病院薬局への情報提供 <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p>	

その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。

・担当者の指名の有無 有 無

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部，職種 薬剤部長)

(所属：安全管理部，職種 教授)

(所属：循環器内科，職種 教授)

(所属：泌尿器科，職種 教授)

(所属：移植消化器外科，職種 教授)

(所属：内分泌代謝内科，職種 教授)

(所属：顎・口腔再生外科学，職種 教授) (所属：感染制御教育センター，職種 教授)

(所属：小児科，職種 教授)

(所属：安全管理部，職種 副部長)

(所属：看護部，職種 看護部長)

(所属：事務部，職種 事務部長)

(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長)

(所属：ME機器センター，職種 副センター長)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 有 無

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても推進する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録及び退院時要約の記載内容について監査及び報告、法令に基づく診療録の管理、診療記録の提供

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従 (5) 名、専任 () 名、兼任 (13) 名

うち医師・歯科医師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (5) 名

うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名

うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（2）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

○医療事故防止対策マニュアルの改訂

○安全管理部部員等による院内巡視

○インシデントレポートの分析

○死亡事例の把握・検証

○安全管理部カンファレンス（週1回実施）

○医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術評価委員会と連携し、高難度新規医療技術の導入に係る申請に対する実施の可否についての判定及び実施後のモニタリングを行っている。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

医薬品医療機器等安全管理委員会が、医療安全管理委員会と連携し、次の各号に掲げる事項に

ついて審議している。

- (1) 医薬品医療機器等の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び改定に関すること。
- (2) 従業者に対する医薬品医療機器等の安全使用のための研修に関すること。
- (3) 医薬品医療機器等の安全使用のための手順書に基づく業務に関すること。
- (4) 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集その他の医薬品の安全
- (5) 本院で使用したことのない医薬品又は高度管理医療機器であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）における承認又は認証を受けていないもの（以下「未承認新規医薬品等」という。）を用いた医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。
- (6) 医薬品医療機器等法における承認又は認証を受けている医薬品又は高度管理医療機器について、本院において、承認若しくは認証と異なる使用又は禁忌に該当する使用を伴う医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 306 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 54 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - インシデントレポートの分析
 - 死亡事例の把握・検証
 - 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：浜松医科大学医学部附属病院）・無）
 - ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：滋賀医科大学医学部附属病院）・無）
 - ・ 技術的助言の実施状況
- 特に改善を求めるような指摘事項はなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

総合患者支援部に患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

①令和元年6月25日 第1回医療安全研修会

「院内血糖管理マニュアルの改定ポイント」

生活習慣病予防診療部 鎌田 昭江 先生

「医療機器の安全管理について」

ME機器センター 林 誠 副センター長

②令和元年10月18日 第2回医療安全研修会

「酸素の性質と院内ポンベの取扱い」

福岡酸素(株) 長崎支社 医療ガス課 有吉 俊介氏

「インシデントレポートの書き方について」

安全管理部 GRM 後田 実知子看護師長

「最近の医療安全の動向」

安全管理部 部長 栗原慎太郎先生

③令和元年12月5日 第3回医療安全研修会

「医薬品安全管理手順書改定のポイント」

安全管理部 GRM/薬剤師 中川博雄先生

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、全員が公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する2019年度特定機能病院管理者研修を受講した。

○受講日

(様式第 6-2)

管理者（中尾 一彦）：令和元年 10 月 28 日

医療安全管理責任者（松尾 孝之）：令和元年 12 月 18 日

医薬品安全管理責任者（佐々木 均）：令和 2 年 1 月 7 日

医療機器安全管理責任者（栗原 慎太郎）：令和元年 12 月 18 日

(注) 前年度の実績を記載すること (㊦の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容 (審議事項) 【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】 第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 経営・運営方針に関する事。(2) 中期目標・中期計画に関する事。(3) 教育・研究活動に関する事。(4) 規程等の制定及び改廃に関する事。(5) 教育研究組織に関する事項(6) 予算及び決算に関する事項(7) 教員の採用及び昇任に関する事項(8) 教員の再任に関する事項(9) その他病院の管理運営に関する重要な事項 <p>・審議の概要の従業者への周知状況 院内HP (イントラネット) に病院運営会議の議事要旨を掲載している。また、診療科長等会議、看護部運営会議で会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有・無) ・公表の方法 ホームページにて公表。 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・無)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中尾 一彦	○	医師	理事 (病院担当) ・ 病院長
浜田 久之		医師	副学長 (高大接続・ 入試広報担当) / 病 院長補佐「教育・広 報」

(様式第 6-3)

尾崎 誠		医師	副病院長「総務」
松尾 孝之		医師	副病院長「安全」
酒井 英樹		医師	副病院長「診療」
辻野 彰		医師	副病院長「経営」
迎 寛		医師	副病院長「人事」
澤瀬 隆		歯科医師	副病院長「歯科統括」
小淵 美樹子		看護師	副病院長「看護統括」
熊谷 圭司		事務職員	副病院長「事務統括」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
泉川 公一		医師	病院長補佐「国際」
栗原 慎太郎		医師	病院長補佐「安全」
阿比留 教生		医師	病院長補佐「施設」
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚生」
川崎 浩二		歯科医師	病院長補佐「地域連携」
松本 武浩		医師	病院長補佐「MSC・医療情報」
田浦 直太		医師	病院長補佐「病床管理・診療情報管理」
田崎 修		医師	高度救命救急センター一長
佐々木 均		薬剤師	薬剤部長
福田 徹		診療放射線技師	医療技術部長
永岡 亜也子		外部有識者（弁護士）	病院顧問

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 無)

- ・ 公表の方法
大学ホームページにて公表。

- ・ 規程の主な内容
【長崎大学病院規則より抜粋】
(病院長)
第3条 本院に、病院長を置く。
2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

- 【長崎大学会計規則より抜粋】
(予算責任者)
第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。

なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっているが、一部、医学部で選考された講座の教授を診療科長とするなど「充て職」が存在するため、医学部と調整を行い、対応を検討する予定である。

- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
病院長の職務を補佐する者として副病院長を置き、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置き、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。
さらに、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者 (経営戦略アドバイザー) を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

(人事)

副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。)、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が推薦し学長が選考するもの、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。)) 及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。

(研修)

全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の活動を行っている。</p> <p>(1) 医療安全管理に関する責任者，医薬品安全管理に関する責任者，医療機器安全管理に関する責任者，安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 上記に掲げる事項について，その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：病院ホームページにて公表。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院医療安全管理部 副部長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2
長谷川 ゆり	長崎大学病院 産科婦人科 准教授		その他学長が必要と認めた者	(有)・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事及び学外者（弁護士）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 無 ）
- ・ 公表の方法 大学ホームページにて公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<p>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</p> <p>役員会（病院長が理事として出席）及び経営協議会で病院決算状況等について審議を行っていること、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事等が構成員として出席していること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。</p> <p>・ 会議体の実施状況 (平成31年度(令和元年度)：役員会 年 20回、経営協議会 年 6回、病院運営会議 年 35回)</p> <p>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) (平成31年度(令和元年度)：役員会 年 16回、経営協議会 年 6回、病院運営会議 年 35回)</p> <p>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無)</p> <p>・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。</p>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内 HP (イントラネット) に掲載している。 院内講習会にて周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人 日本医療機能評価機構、「病院機能評価：一般病院 3」2018年11月 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN、「ジャパン国際ホスピタルズ」2017年6月 公益財団法人 日本適合性認定協会、「ISO15189 (検査部・細胞療法部)」2017年3月 特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構、2018年3月 アジア太平洋地域倫理委員会フォーラム、2018年11月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域や患者の医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について、情報発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○複数診療科の医師及び他職種の医療スタッフを構成員としたチーム（精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、呼吸ケアチーム、外来緩和ケアチーム、糖尿病ケアサポートチーム、透析予防診療チーム、排尿ケアチーム）を設置し、チーム医療を実践している。 ○周術期口腔管理センターを設置し、術後の周術期の口腔ケアだけでなく保存、補綴も含め必要な歯科治療全てを扱い、医科歯科連携医療を推進している。	